

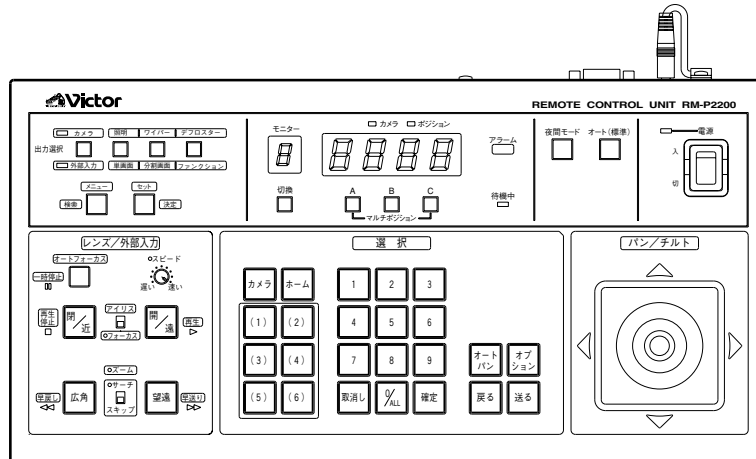


Victor

リモートコントロールユニット

型名 **RM-P2200**

取扱説明書
(A)



お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」
をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお
使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要
なときお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際
は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造
番号と保証書に記載されている製造番号が一致している
かお確かめください。

はじめに

このたびは リモートコントロールユニット RM-P2200を お買い上げいただき ありがとうございます。

正しくお使いいただくためのご注意

- 強い電波や磁気の影響
ラジオやテレビの送信アンテナに近い所、変圧器、モーターなど強い磁気が発生するところやトランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近くでは画像にノイズが入ることがあります。
- 落雷などにより電源電圧が変動した場合、システム保護のため電源電圧が安定するまで操作できないことがあります。
- ご使用にならないときは、節電のため電源スイッチを切ってください。

デジタルビデオレコーダー VR-777 の制御がおこなえるのは、シリアルナンバープレートの機種名が RM-P2200(A) および SW-2200(A) の商品です。

RM-P2200、SW-2200 を複数台組み合わせて使用する場合、すべての機器について、シリアルナンバープレートの機種名が、RM-P2200(A) および SW-2200(A) であることを確認してください。(A) でない商品が混在していると、システムが正しく動作しない場合があります。(A) が付いていない商品につきましては、有料にてソフトのバージョンアップをおこないますので、お買い上げ販売店にお問い合わせください。

特長

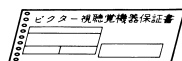
本機とシステムコントロールユニット(SW-2200)およびコンビネーションカメラ(TK-S576B、TK-S655など)と組み合わせた場合の特長です。

- コンビネーションカメラを最大 80 台まで制御
システムコントロールユニット(SW-2200)を5台接続することにより最大 80 台のコンビネーションカメラが制御できます。
- 本機 5 台、モニター 5 台接続可能
 - ・ 本機を最大 5 台まで接続することができ、5 か所から制御がおこなえます。
 - ・ モニターアウトを5つ持つので、5通りの映像信号出力で確認できます。
- カテゴリー選択
全てのポジションを監視したい場所ごとに例えばパチンコ、スロット、出入口、駐車場など6つのカテゴリーに区分けできます。
- マルチポジション
1つのポジションに最大3台のカメラを割り付けることで、3方向から監視することができ、死角がなくなります。
- 最大 16200 ポジションまで設定可能
6つのカテゴリーに全部で5400ポジションの設定ができます。(4000(カテゴリー①)+1000(カテゴリー②)+4×100(カテゴリー③~⑥)=5400)
さらにマルチポジション機能により、1つのポジションに3台のカメラを割り付け、最大 16200 ポジションを設定することができます。
- デジタルビデオレコーダーを制御可能
SW-2200 の外部制御端子に接続されたデジタルビデオレコーダー VR-777(別売)を制御することができます。

付属品・添付物



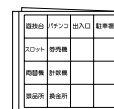
取扱説明書
(本書)



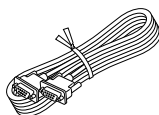
保証書



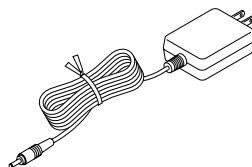
ビクターサービス窓口案内



ラベル
(カテゴリーボタン用)



接続ケーブル
(SW-2200との接続用)



ACアダプター



ケーブル
クランプ



スクリュー
(M3×8mm)

(ACアダプター用)

目次

はじめに

正しくお使いいただくためのご注意	2
特長	2
付属品・添付物	2
目次	3
各部の名称とはたらき	4

操 作

操作の前に	7
手動操作	
・カメラを選択する	8
・ホームポジションを選択する	10
・プリセットポジションを選択する	12
・見たい映像の画角を調節をする	14
・パン/チルトコントロールレバー操作	15
・レンズ操作	15
オート動作	
・シーケンス動作(オートシーケンス、プリセットシーケンス)	16
・オートパン動作	18
その他の機能	
・オート(標準)モード	19
・夜間モード	19
・マルチポジションの選択	20
・モニターの切り換え	22
・アラーム動作・解除について	23
・アラーム制御パターンについて	24
・デジタルビデオレコーダーの操作	26

設 定

メニュー画面の流れ	28
メニューの基本操作	
・メニュー画面を起動させる	30
・設定値を変える	32
設定手順	33
システム設定(初期設定)	34
・モニター1の出力設定(モニター出力設定をモニター1に設定時)	36
・モニター2～5の出力設定(モニター出力設定をモニター2～5に設定時)	37
カメラタイトル、ホームポジションタイトルの設定(カメラ側のメニュー)	38
ホームポジション設定	39
プリセットポジション設定	42
・カテゴリタイトルの設定	46
・プリセットポジションの登録	48
アラーム設定	51
アラームメニューの設定	51
設定時のメッセージ表示について	52
カテゴリボタン表示のはりかえ	53
キーロック(誤操作防止)	54
設定切換スイッチ	55

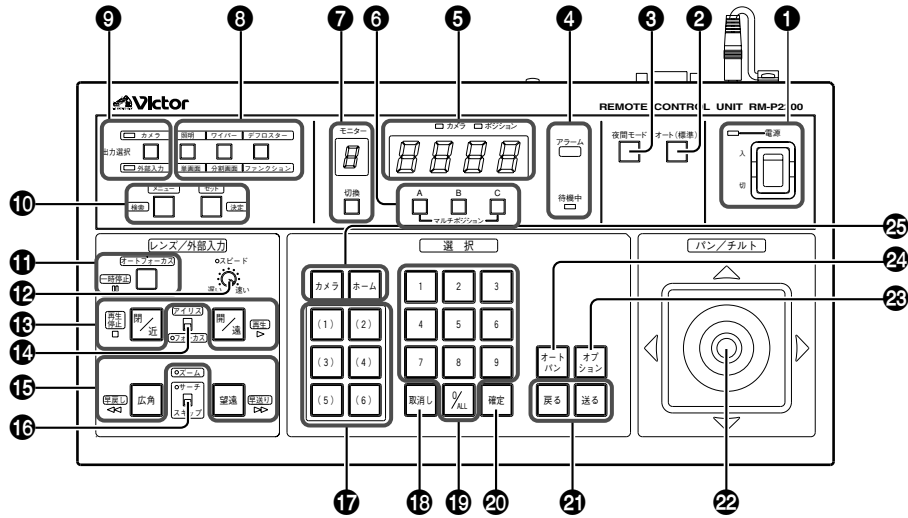
そ の 他

故障かな?と思ったら	56
「ユニット-端子番号」接続機器	58
保証とアフターサービス	59
仕様	59

はじめに (つづき)

各部の名称とはたらき

■ コントロールパネル



① 【電源】 電源スイッチおよび表示灯

電源入/切スイッチです。“入”側にすると表示灯が点灯します。

② 【オート(標準)】 オート(標準)状態設定ボタンおよび表示灯

オート(標準)状態にする場合に押します。オート(標準)状態の設定は個々のカメラにより異なります。ONの時には表示灯が点灯します。(☞19ページ)

③ 【夜間モード】 夜間モード設定ボタンおよび表示灯

夜間モードにする場合押します。夜間モードの設定は接続のカメラの種類により異なります。ONの時には表示灯が点灯します。(☞19ページ)

- 【出力選択】 ボタン⑨が、外部入力に設定されている時は、夜間モードの起動に加え、VR-777のタイマーモードの起動を連動させることができます。(☞35ページ)

④ 【アラーム】 アラーム表示灯

SW-2200 からアラーム入力があると表示灯が点灯します。(☞22ページ)

• 【待機中】 待機中表示灯

SW-2200の背面TO RM-P2200-1端子に接続されたRM-P2200を使用しメニュー操作をおこなっている時にRM-P2200-2～5で点灯し、操作不可を表示します。

⑤ • カメラ / ポジション表示部

ポジションが点灯しているときはポジション番号が表示され、カメラが点灯しているときは、カメラ番号が表示されています。

• 【ポジション】 ポジション表示灯

ポジションが選択されているときに点灯します。

• 【カメラ】 カメラ表示灯

カメラが選択されているとき点灯します。

⑥ 【マルチポジションA、B、C】 マルチポジションA、B、C 選択操作ボタンおよび表示灯

表示されているポジションが、マルチポジションに設定されている場合、表示灯が点灯します。点灯しているボタンを押すとそのカメラの映像に切り換ります。

⑦ 【モニター/切換】 モニター表示部およびモニター切換ボタン

操作しているモニター出力の番号を表示します。リモコン1で複数のモニターを設定している場合、ボタンを押すとモニターが切り換わります。複数のRM-P2200を使用している場合は、モニター切換ボタンを押すと、操作可能なモニター出力の番号が表示されます。(☞22ページ)

⑧ • 【デフロスター/ファンクション】 デフロスター操作、ファンクションボタンおよび表示灯

- 屋外カメラハウジング用リレーボックス(RB-5129)をかいしてデフロスターのON/OFF操作をおこないます。デフロスターが動作しているときは、表示灯が点灯します。
- 【出力選択】 ボタン⑨が、外部入力に設定されている時は、【ファンクション】 ボタンとして機能します。(☞26ページ)

• 【ワイパー/分割画面】 ワイパー操作、分割画面ボタンおよび表示灯

- 屋外カメラハウジング用リレーボックス(RB-5129)をかいしてワイパーのON/OFF操作をおこないます。ワイパーが動作しているときは、表示灯が点灯します。
- 【出力選択】 ボタン⑨が、外部入力に設定されている時は、【分割画面】 ボタンとして機能します。(☞26ページ)

• 【照明/単画面】 照明操作、単画面ボタンおよび表示灯

- 屋外カメラハウジング用リレーボックス(RB-5129)のAUX端子のON/OFF操作をおこないます。AUX端子が“ON”とき、表示灯は点灯します。リレーボックス(RB-5129)のディップスイッチの1番ピンはOFFで使用してください。
- 【出力選択】 ボタン⑨が、外部入力に設定されている時は、【単画面】 ボタンとして機能します。(☞26ページ)

⑨ 【出力選択】 出力選択切換ボタンおよびカメラ/外部入力表示灯

カメラ入力信号と外部入力信号の切り換えをおこないます。カメラ側が点灯しているときは、接続されたカメラの制御をおこないます。外部入力側が点灯しているときは、SW-2200の外部入力端子に接続されている外部機器の制御をおこないます。(☞26ページ)

⑩ • [メニュー/検索] メニュー、検索ボタンおよび表示灯

- メニューの設定画面を表示するとき約 1 秒間押します。設定画面が表示されているときは、表示灯が点灯します。
- 【出力選択】ボタン⑨が、外部入力に設定されている時は、【検索】ボタンとして機能します。(☞26 ページ)
- [セット/決定] セット、決定ボタンおよび表示灯
- 各種設定を登録するときを押します。
- 【出力選択】ボタン⑨が、外部入力に設定されている時は、【決定】ボタンとして機能します。(☞26 ページ)

⑪ [オートフォーカス/一時停止] オートフォーカス、一時停止ボタン

- ピントの自動調節をおこなう場合押します。
- 【出力選択】ボタン⑨が外部入力に設定されている時は、【一時停止】ボタンとして機能します。(☞26 ページ)

⑫ [スピード] スピード調節つまみ

- フォーカス、ズームの動作スピードを調節するためのつまみです。動作スピードは、4 段階で調節することができます。
- 【出力選択】ボタン⑨が外部入力に設定されている時は、サーチスピード調節つまみとして機能します。(☞26 ページ)

⑬ [アイリス(開)(閉)/フォーカス(近)(遠)、再生停止/再生] アイリス/フォーカス操作、再生停止/再生ボタン

- 【アイリス/フォーカス】切換スイッチ⑭がアイリスに設定されている場合、レンズアイリスの操作がおこなえます。
閉：アイリス(絞り)を閉じます。
開：アイリス(絞り)を開きます。
- 【アイリス/フォーカス】切換スイッチ⑭がフォーカスに設定されている場合、レンズフォーカスの操作がおこなえます。
遠：遠い被写体にピントをあわせませます。
近：近い被写体にピントをあわせませます。
- 【出力選択】ボタン⑨が、外部入力に設定されている時は、【再生停止/再生】ボタンとして機能します。(☞26 ページ)

⑭ [アイリス/フォーカス] アイリス/フォーカス切換スイッチ

- 【アイリス(開)(閉)/フォーカス(近)(遠)】操作ボタン⑬で操作できる機能を切り換えます。
- アイリス側：アイリス(絞り)の調節がおこなえます。
フォーカス側：フォーカス(ピント)の調節がおこなえます。

⑮ [ズーム(広角)(望遠)、早戻し/早送り] ズーム操作、早戻し/早送りボタン

- 望遠：被写体が大きくなります。
広角：被写体が小さくなります。
- 【出力選択】ボタン⑨が、外部入力に設定されている時は、【早戻し/早送り】ボタンとして機能します。(☞26 ページ)

⑯ [サーチ/スキップ] サーチ/スキップ切換スイッチ

- 【出力選択】ボタン⑨が、外部入力に設定されている時は、【サーチ/スキップ】切換スイッチとして機能します。(☞26 ページ)
- 【出力選択】ボタンがカメラに設定されている時は機能しません。

⑰ [カテゴリー] カテゴリー選択ボタン

- あらかじめ設定した(1)~(6)のカテゴリーを選択するときを使用します。付属のラベルを使用し、カテゴリーボタンのタイトルを変更することもできます。(☞53 ページ)

⑱ [取消] 取消しボタン

- 入力した番号を【確定】ボタン⑳で確定する前に取り消す場合に使用します。

⑲ [0/ALL ~ 9] テンキーボタン

- カメラ番号、ポジション番号を入力する場合に使用します。“0/ALL”は場合に応じて“0”または、全てを選択する“ALL”となります。

⑳ [確定] 確定ボタン

- 【テンキー】ボタン⑲で入力した番号を確定するときなどに使用します。

㉑ [戻る/送る] 番号戻しボタン/番号送りボタン

- カメラ番号、ポジション番号を戻す(もしくは送る)場合に使用します。

㉒ [パン/チルト] パン/チルトコントロールレバー

- 回転台をパン(水平)チルト(垂直)に回転させ、カメラの向きを調節します。
- (▲)：回転台を上方向に動かします。
 - (▼)：回転台を下方向に動かします。
 - (◀)：回転台を左方向に動かします。
 - (▶)：回転台を右方向に動かします。

* レバーの傾斜角度によって、パン/チルト動作のスピードを8段階で制御することができます。(☞15 ページ)

- メニュー画面表示中は項目の選択や設定をおこなうときに使用します。

㉓ [オプション] オプション操作ボタン

- 複数アラームが入っている状態で、アラームカメラ検索するときを使用します。(☞35 ページ)

㉔ [オートパン] オートパン操作ボタンおよび表示灯

- このボタンを押すと、設定されたポジションを設定時間間隔で自動的にパン(水平)方向に往復あるいは回転動作します。オートトレースモードに設定されている場合は、設定されたトレース動作をおこないません。詳細はカメラの「取扱説明書」をお読みください。

㉕ • [ホーム] ホームポジション設定ボタン

- ホームポジション番号を選択するときを押します。

• [カメラ] カメラ設定ボタン

- カメラを選択するときを押します。

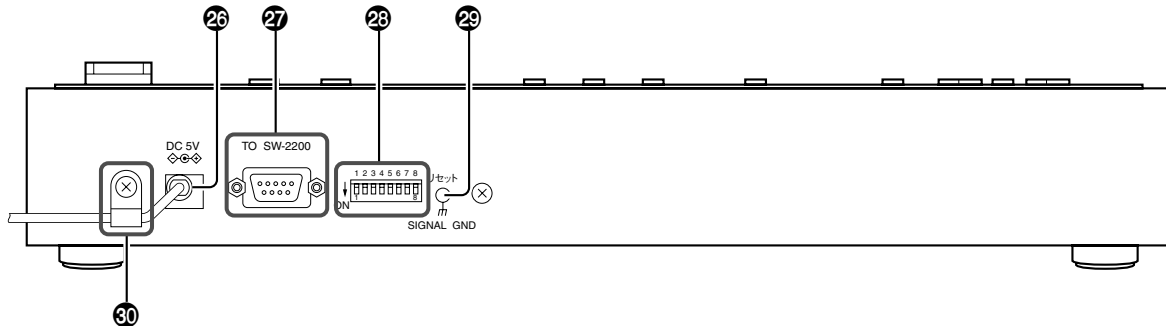
メモ

- フォーカス操作ボタン⑬、ズーム操作ボタン⑮は、スピード調節つまみ⑫により、動作スピードを4段階で調節することができます。

はじめに (つづき)

各部の名称とはたらき

■ リアパネル



②⑥ [DC 5V] 電源入力端子

付属の AC アダプターから DC 電源を入力します。

②⑦ [TO SW - 2200] コントロールコネクター

システムコントロールユニット [SW-2200(別売)] へ接続するコネクターです。

②⑧ 設定切換スイッチ

本機の設定を切り換えることができます。(☞55 ページ)

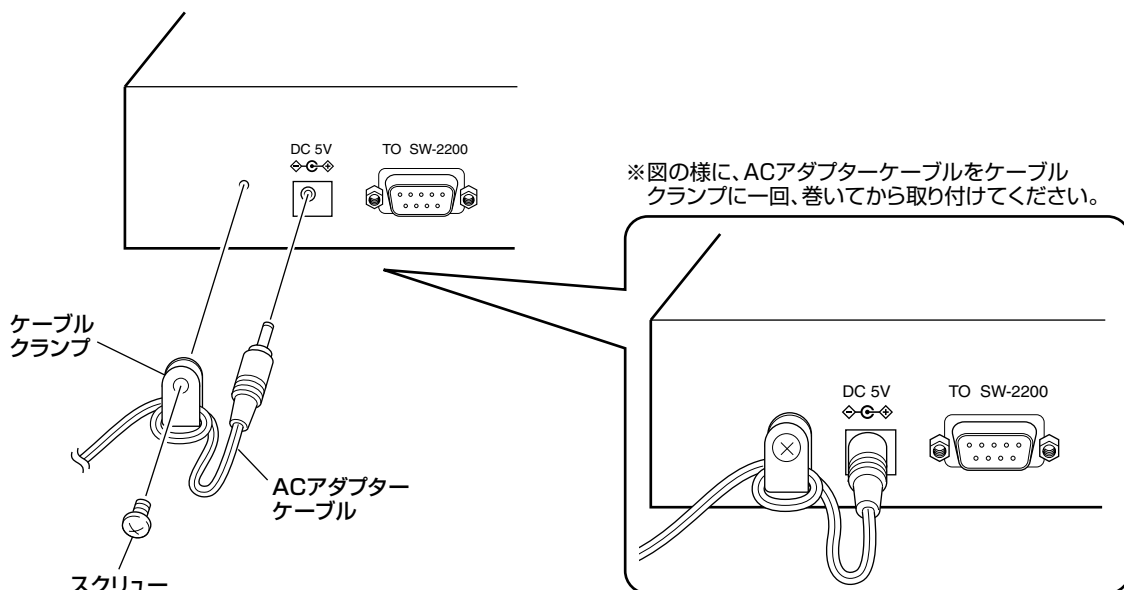
②⑨ [リセット] リセットボタン

サービス用です。さわらないでください。

③⑩ ケーブルクランプ、およびスクリュー

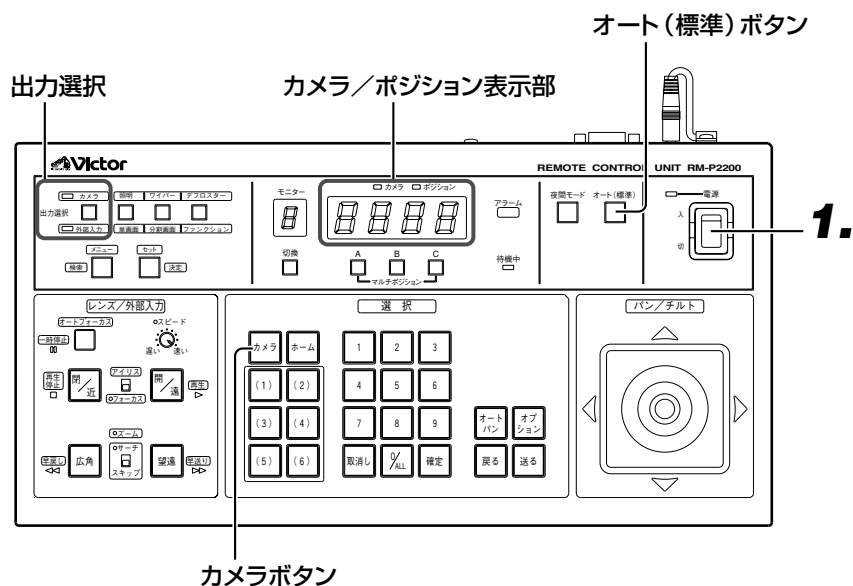
AC アダプターのケーブルを本機に固定するのに使用します。(☞6 ページ「ケーブルクランプの取り付け方」)

■ ケーブルクランプの取り付け方

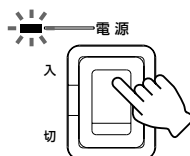


操作

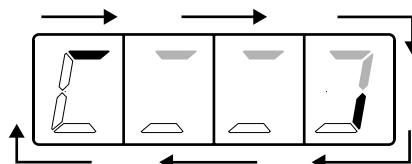
操作の前に



1. [電源]を入れる



- 「ピッ」とブザー音が鳴り、電源が入ります。
- 電源表示灯が点灯します。
- [カメラ/ポジション] 表示部の点灯している部分が下図の様に回転します。



- **SW-2200** との初期通信中 [待機中] 表示灯が点灯し、消灯後オート(標準)状態となります。

※ 以降の操作説明は、SW-2200システムの電源を同時に入れた場合について書かれています。

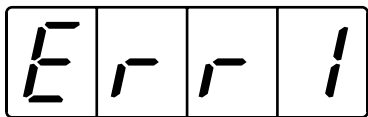
メモ

- SW-2200システムの電源投入時 [オート(標準)] 表示灯が点灯し、[出力選択] は「カメラ」が選択されています。
- 本機のみ電源を再投入した場合は、電源を切る前の状態に戻ります。

メモ

- 本機と SW-2200 との通信が、正しくおこなわれなくなった場合に「Err 1」と表示されます。接続ケーブルやシステム電源を確認してください。

(エラー表示)

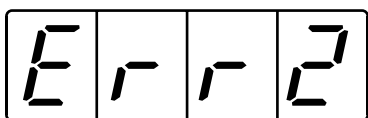


- リモートコントロールユニットの設定が実際の接続とあってない場合に「Err 2」と表示されます。

(例)

- リモコン2、リモコン3が接続されているのに、システム設定「アラーム制御パターン」項目 (※34ページ) で、「モニター2台」あるいは「モニター3台」と設定した場合。
- リモコン2～5の接続と「リモコン1使用モニター台数」項目が重複して設定された場合。

(エラー表示)

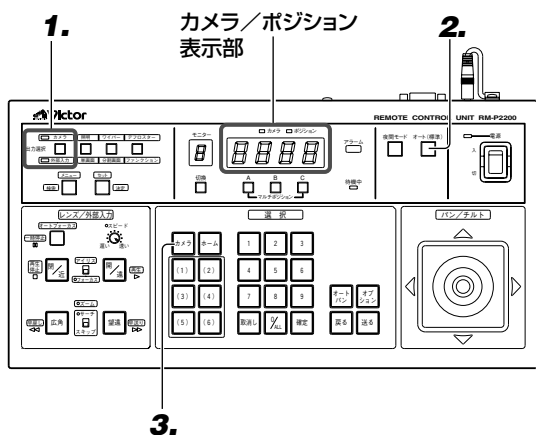


操作 (つづき)

手動操作

カメラを選択する

カメラ番号を指定して、映像を確認できます。



1. [出力選択]が“カメラ”になっていることを確認

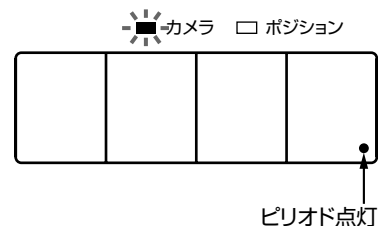
- カメラ
 - 出力選択
 - 外部入力
- 電源投入時“カメラ”が選択されています。
 - [出力選択]の“カメラ表示灯”が点灯しています。

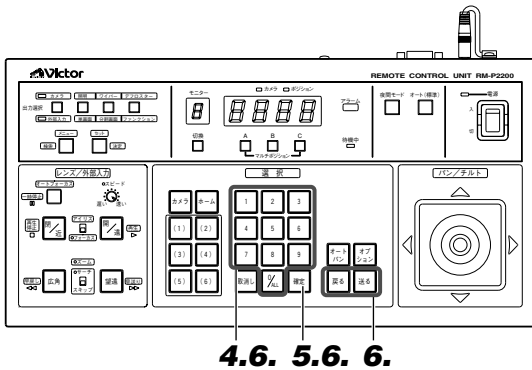
2. [オート(標準)]を押し、オート(標準)状態を解除する

- オート(標準)消灯
- [オート(標準)]表示灯が消え、シーケンス動作(16 ページ)が解除されます。

3. [カメラ]を押す

-
- [カメラ] ボタンが点灯します。
 - カメラ選択モードとなり、[カメラ/ポジション]表示部にピリオドが点灯表示され、[カメラ] が点灯します。





4.6. 5.6. 6.

メモ

入力を間違えた場合は [取消] を押してください。

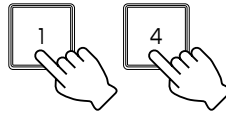
メモ

• 入力した番号のカメラがなければ、**3.**のカメラ番号入力待ち状態になります。

メモ

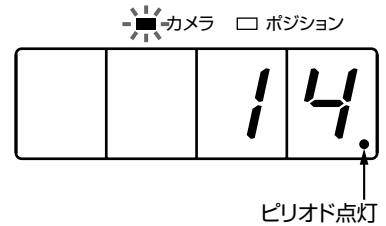
• カメラ番号の最大番号で [送る] ボタンを押した場合は、最小番号に戻ります。また、最小番号で [戻る] ボタンを押した場合は、最大番号を表示します。

4. カメラ番号を入力する



例)カメラ 14 を選択する。

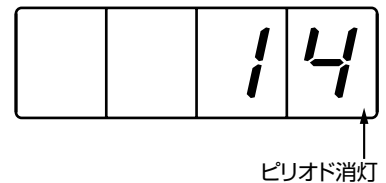
- テンキー [1] [4] を押す。
- カメラ/ポジション表示部に“14”と表示されます。



5. [確定] を押す



- 選択したカメラの映像に切り換わります。
- ピリオドが消灯します。



6. 別のカメラを選ぶには

- [送る] を押す



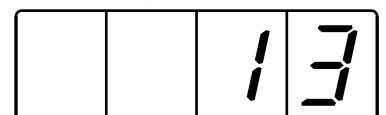
- 次の番号のカメラ映像に切り換わります。



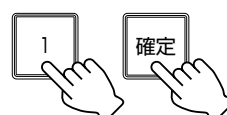
- [戻る] を押す



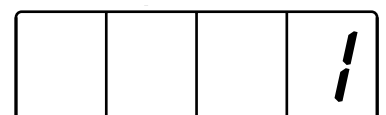
- 前の番号のカメラ映像に切り換わります。



- [テンキー] を押し [確定] を押す



- 入力した番号のカメラ映像に切り換わります。



操作 (つづき)

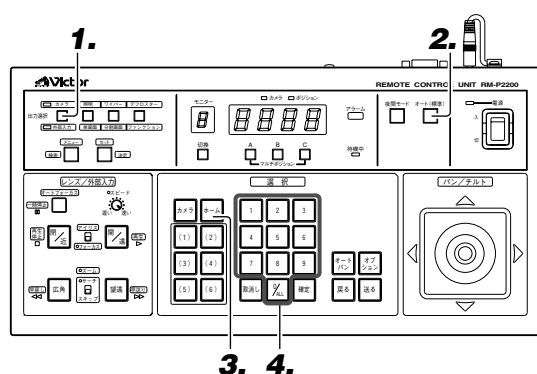
手動操作 (つづき)

ホームポジションを選択する

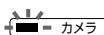

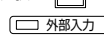
見たいホームポジションを選択します。(※39 ページ「ホームポジション設定」)

ホームポジションとは



各カメラにプリセットポジション(1 台につき TK-S576B の場合は 255、TK-S655 の場合は 63 ポジション)とは別に 1 ポジションがホームポジションとして設定されています。オートシーケンス(※17ページ)でモニターに表示されている映像はホームポジションの映像です。



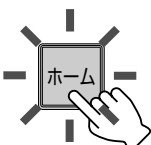
1. [出力選択]が“カメラ”になっていることを確認

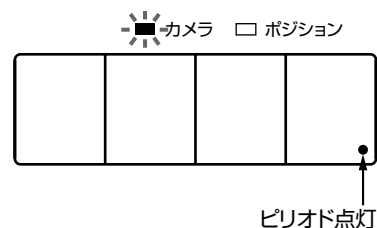
-  カメラ
 - 出力選択 
 -  外部入力
- 電源投入時は“カメラ”が選択されています。
 - [出力選択]の“カメラ表示灯”が点灯しています。

2. [オート(標準)]を押し、オート(標準)状態を解除する

- オート(標準) 
 - 消灯 
- [オート(標準)]表示灯が消え、シーケンス動作が解除されます。

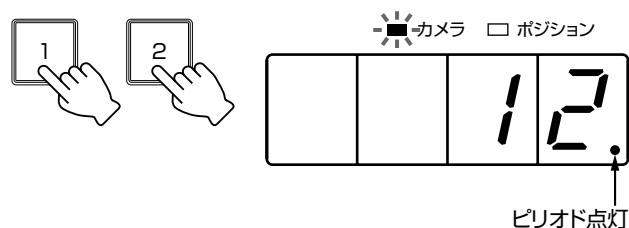
3. [ホーム]を押し

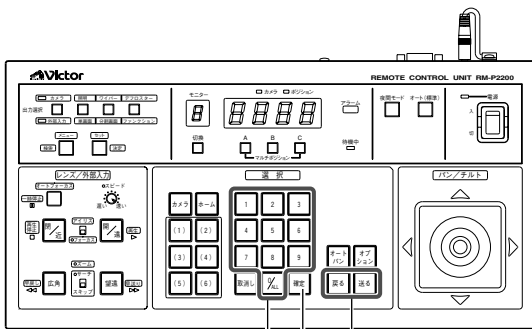
- 
- ホームポジション番号入力待ち状態となり、ピリオドが点灯します。
 - [ホーム] ボタンが点灯します。



4. ホームポジション番号を選択する

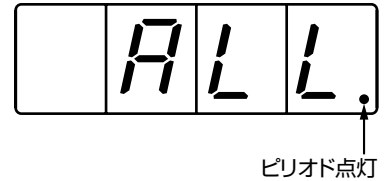
例 1) カメラ 12 のホームポジションを選択する。
テンキー [1] [2] を押す。





4. 5. 6.

例2) 全てのカメラをホームポジションにする。
テンキー [0 / ALL] を押す。



例3) 現在選択されているカメラをホームポジションにする。
手順 4. をおこなわずに、手順 5. に進む

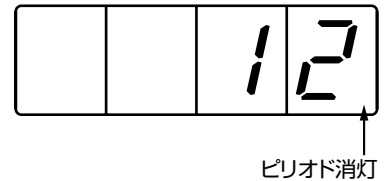
メモ

選択したカメラ番号がない場合、[ピッ]と音がして3.のホームポジション番号入力待ち状態となります。

5. [確定] を押す



- 選択したホームポジション番号の映像に切り換わります。
- このときピリオドが消灯します。



メモ

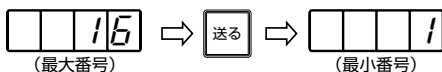
• 選択したホームポジションの前後にカメラ番号がない場合、[戻る]、[送る] ボタンを押すと、自動的に次のカメラ番号までとびます。

(例) カメラ 13 の次がカメラ 16 の場合



• ホームポジション番号の最大番号および最小番号で [戻る]、[送る] ボタンを押した時、最大番号の場合は最小番号へ、最小番号の場合は最大番号へとびます。

(例) カメラが 1 ~ 16 台まで登録されている場合



6. 別のカメラのホームポジションを選択するには

• [送る] を押す



- 次の番号のカメラのホームポジションに切り換わります。



• [戻る] を押す



- 前の番号のカメラのホームポジションに切り換わります。

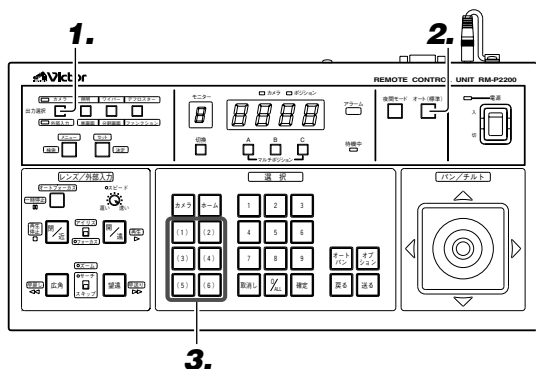


操作 (つづき)

手動操作 (つづき)

プリセットポジションを選択する

■ 見たいプリセットポジションを選択します。(プリセットポジション設定 42ページ)



例) 785 番のプリセットポジションを選ぶ

1. [出力選択]が“カメラ”になっていることを確認

- 点灯 = カメラ
- 電源投入時は、“カメラ”が選択されています。
 - [出力選択]の“カメラ表示灯”が点灯しています。
- 外部入力

2. [オート(標準)]を押し、オート(標準)状態を解除する

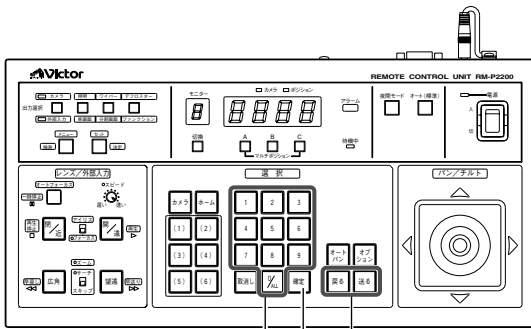
- オート(標準)
- 消灯
- [オート(標準)]表示灯が消え、シーケンス動作が解除されます。

3. 選択したい[カテゴリー]を押す

- | | |
|-----|-----|
| (1) | (2) |
| (3) | (4) |
| (5) | (6) |
- 選択した[カテゴリー]ボタンが点灯します。プリセットポジション番号入力待ち状態となり、この時ピリオドが点灯します。
 - ポジション表示灯が点灯します。
- カメラ ポジション
- ピリオド点灯

メモ

- プリセットポジション番号入力待ち状態のとき、[確定]ボタンを押すと、表示可能なカメラの中で最小番号のポジションに設定されます。
- [カテゴリー]ボタンには、工場出荷時は(1)~(6)の番号が入っていますが添付のラベルで、タイトルを付けることができます。(53ページ)
- ポジションがひとつも登録されていないカテゴリーは選択できません。



4. 6. 5. 6.

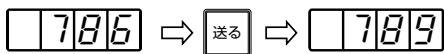
メモ

もし、選択した、プリセットポジションが設定されていない場合、“ピッ”音がして、3.のプリセットポジション番号入力待ち状態となります。

メモ

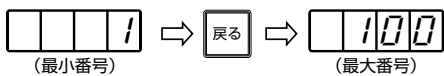
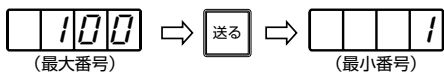
• プリセットポジション番号が前後にない場合、[戻る]、[送る] ボタンを押すと、自動的に次のポジションまでとびます。

(例) 786ポジションの次が789ポジションの場合

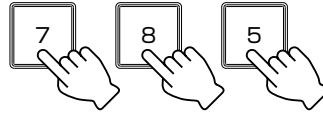


• プリセットポジション番号の最大番号および最小番号で [戻る]、[送る] ボタンを押した時、最大番号の場合は最小番号へ、最小番号の場合は最大番号へとびます。

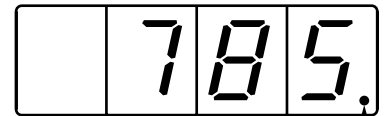
(例) プリセットポジションが1～100まで登録されている場合。



4. テンキー [7]、[8]、[5] を押す



- 入力を間違えた場合は [取消] を押してください。



ピリオド点灯

5. [確定] を押す



- 選択したプリセットポジションの映像に切り換わります。
- このときピリオド消灯します。



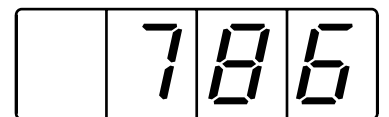
ピリオド消灯

6. 別のポジションを選ぶには

- [送る] を押す



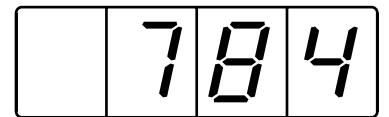
- 次のプリセットポジション番号の映像に切り換わります。



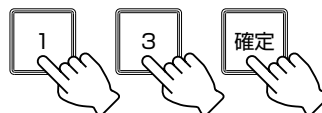
- [戻る] を押す



- 前のプリセットポジション番号の映像に切り換わります。



- [テンキー] を押し [確定] を押す



- 入力したプリセットポジション番号の映像に切り換わります。

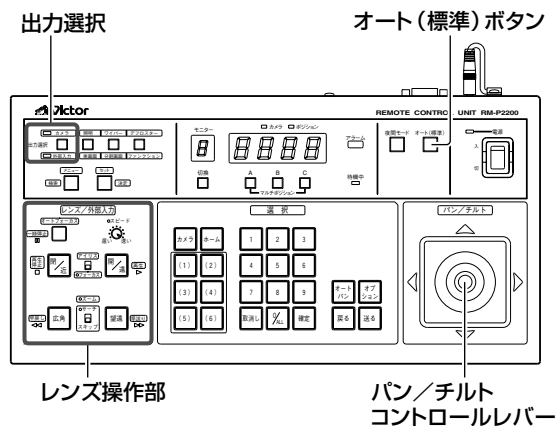


操作 (つづき)

手動操作 (つづき)

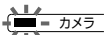

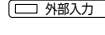
見たい映像の画角を調節する

選択したカメラのパン／チルト操作およびレンズの操作がおこなえます。

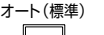



■マニュアル操作したいカメラを選択する

1. [出力選択]が“カメラ”になっていることを確認

-  カメラ
 -  出力選択
 -  外部入力
- 電源投入時は、“カメラ”が選択されています。
 - [出力選択]の“カメラ表示灯”が点灯しています。

2. [オート(標準)]を押し、オート(標準)状態を解除する

-  オート(標準)
 -  消灯
- [オート(標準)]表示灯が消え、シーケンス動作が解除されます。

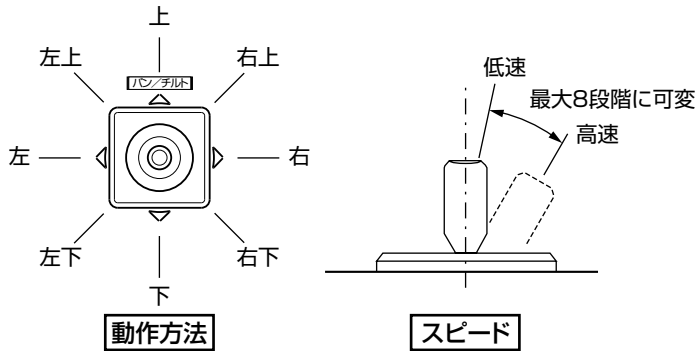
3. マニュアル操作したいカメラ番号、ホームポジション番号、プリセットポジション番号を選択する

(☞ 8～13ページ)

- モニター表示されている映像を手動で操作し、映像を見たい様に調節することができます。

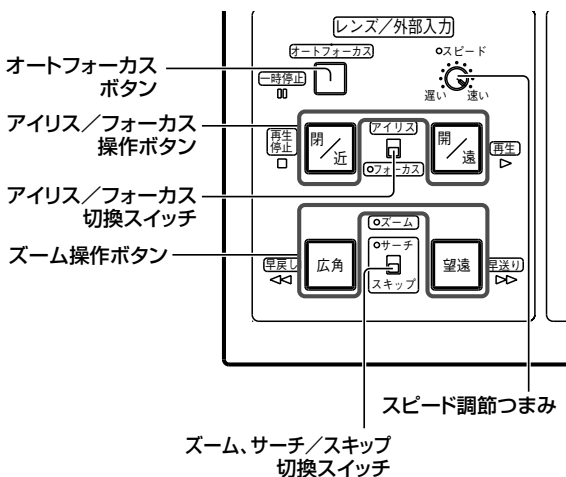
パン/チルトコントロールレバー操作

■カメラの方向を変えます。

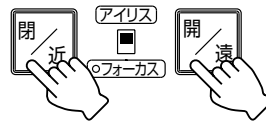


- [パン/チルト] コントロールレバーを、傾ける方向に応じて、カメラの回転部分が回転し、カメラの方向が変わります。
- レバーの傾きに応じて、カメラの動作スピードが8段階に可変します。

レンズ操作



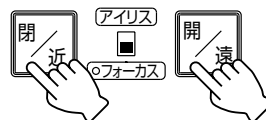
● アイリス(明るさをあわせる)



[アイリス/フォーカス] 切換スイッチをアイリス側にし、[閉]、[開] ボタンでアイリスを調節します。

- [閉] : アイリス(絞り)を閉じる
- [開] : アイリス(絞り)を開く

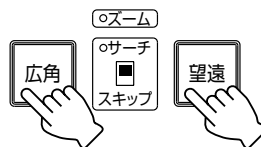
● フォーカス(ピントをあわせる)



[アイリス/フォーカス] 切換スイッチを[フォーカス]側にし、[近]、[遠] ボタンでピントを調節します。

- [近] : 近い被写体にピントがあう。
- [遠] : 遠い被写体にピントがあう。

● ズーム(画面の大きさをあわせる)



[広角]、[望遠] ボタンでズームを調節します。

- [望遠] : 被写体が大きくなる。
- [広角] : 被写体が小さくなる。

● オートフォーカス(ピントの自動調節)



[オートフォーカス] ボタンを押して、自動でピントをあわせることができます。

メモ

フォーカス、およびズームは「スピード調節つまみ」により、動作スピードを4段階に調節することができます。

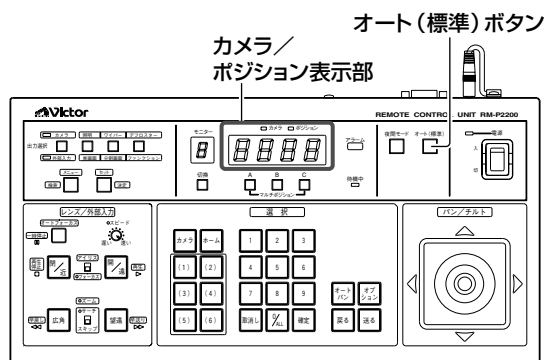
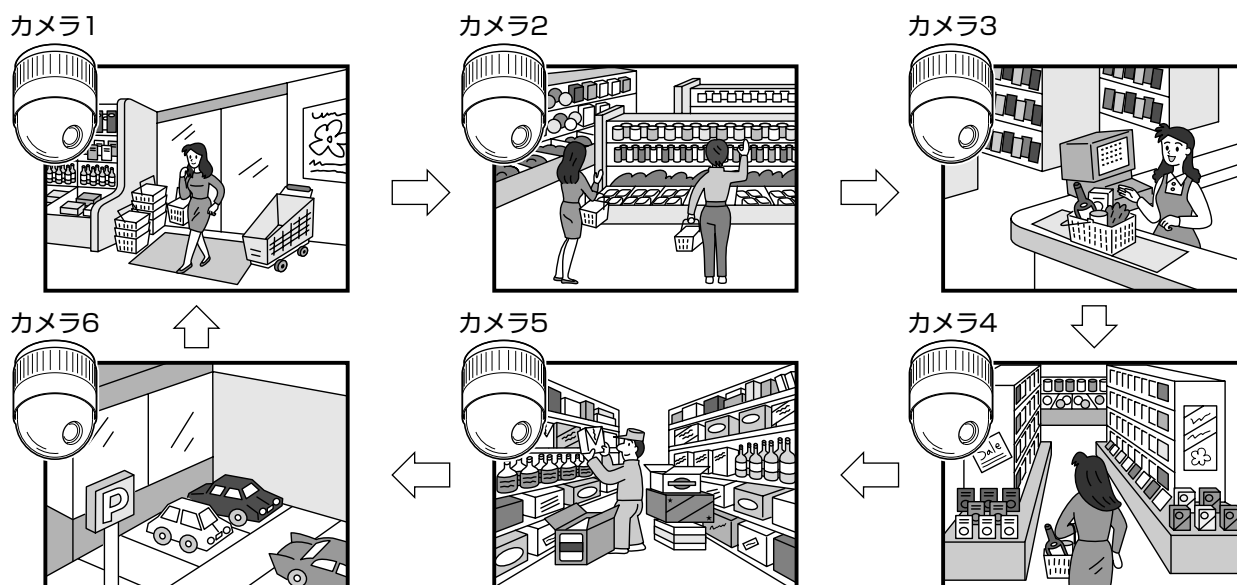
操作 (つづき)

オート動作

シーケンス動作

[オート(標準)] ボタンを押すと、[オート(標準)] 表示灯が点灯し、一定時間間隔で各カメラのホームポジションの映像を切り換えて **SW-2200** の MONITOR OUTPUT から出力します。(☞19 ページ「オート(標準)モード」) シーケンス動作は、モニター 1 のみ、モニター 1 出力設定「シーケンスタイプ」で「オートシーケンス」「プリセットシーケンス」のどちらかを設定し、切換時間の設定ができます。(☞36 ページ) モニター 2～5 では、切換時間の設定はできませんが、シーケンス動作は、オートシーケンスのみとなります。

(例)カメラ 1～6 の場合 (プリセットシーケンスの場合は、カメラではなくポジションの映像を切り換えます。)



1. [オート(標準)]を押す



- [オート(標準)] 表示灯が点灯し、シーケンス動作を開始します。
- システム設定の「カメラタイプ/標準状態」項目(☞34 ページ)で標準状態が「オートパン」に設定されていると、オートパン動作(☞18 ページ)しながら、シーケンス動作をします。ただし、プリセットシーケンス(☞17 ページ)中はオートパン動作はしません。
- シーケンス動作は、モニター出力設定項目を「モニター 1」に設定した時のみシーケンスタイプで「オートシーケンス」「プリセットシーケンス」の設定と、切換時間の設定ができます。モニター 2～5 はオートシーケンス動作のみとなります。
(設定 ☞36、37 ページ「モニター 1 の出力設定」「モニター 2～5 の出力設定」)

メモ

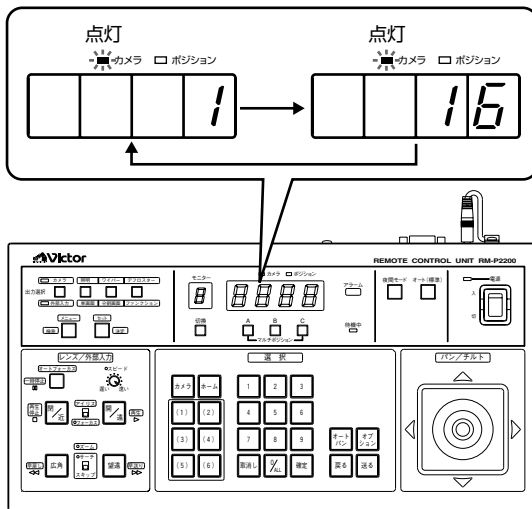
- シーケンス動作中は、マニュアル操作(カメラ、ホームポジション、プリセットポジション選択など)をおこなうことはできません。
- [オート(標準)] ボタンをもう一度押すとシーケンス動作は止まります。モニターには、最後に切り変わった時のカメラの映像が出力されます。もう一度 [オート(標準)] ボタンを押すと、次のポジションのカメラ映像からオートシーケンスを再開します。
- シーケンス動作中に、メニューを起動させても、シーケンス動作は止まります。

■ オートシーケンス動作

オートシーケンスとは

一定時間間隔で、接続カメラの各ホームポジションの映像(☞10ページ)を切り換えて、**SW-2200**のMONITOR OUTPUTから出力します。切替時間の設定もできます。(☞36、37ページ)

例) カメラ16台が接続されている場合



- 一定時間間隔で、モニター画面の映像が切り換わると同時に[カメラ/ポジション]表示部の表示も切り換わります。
- [カメラ/ポジション]表示部のカメラ側が点灯します。
- システム設定の「カメラタイプ/標準状態設定」項目(☞34ページ)で標準状態が、「オートパン」に設定されている場合は、オートパン動作(☞18ページ)しながらオートシーケンスします。

メモ

「オートシーケンス」の詳しい設定は、システム設定項目の「モニター1の出力設定」項目(☞36ページ)「モニター2～5の出力設定」項目(☞37ページ)をご覧ください。

■ プリセットシーケンス動作

プリセットシーケンスとは

一定時間間隔で、カテゴリー(6)の中に設定されているプリセットポジションの映像を切り換えて、モニターに出力します。開始プリセット番号の設定、切り換え時間の設定もできます。

メモ

「プリセットシーケンス」の詳しい設定は、システム設定項目の「モニター1の出力設定」(☞36ページ)をご覧ください。

- 一定時間間隔で、モニター画面の映像が切り換わります。
- カメラ/ポジション表示部のカメラ側が点灯します。
- システム設定の「カメラタイプ/標準状態設定」項目(☞34ページ)で標準状態がオートパンに設定されてる場合でも、プリセットシーケンス中は「オートパン」動作しません。
- [カメラ/ポジション]表示部には、出力されているポジションをうつしているカメラ番号が表示されます。
- プリセットシーケンス解除後は、[カメラ/ポジション]表示部にポジション番号が表示されます。

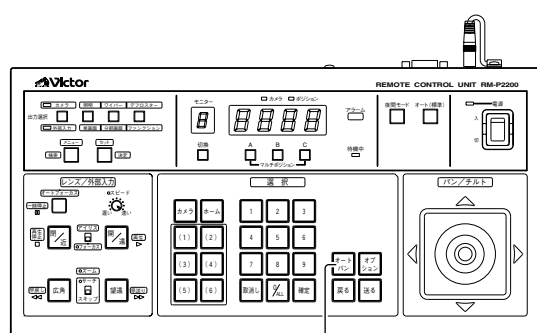
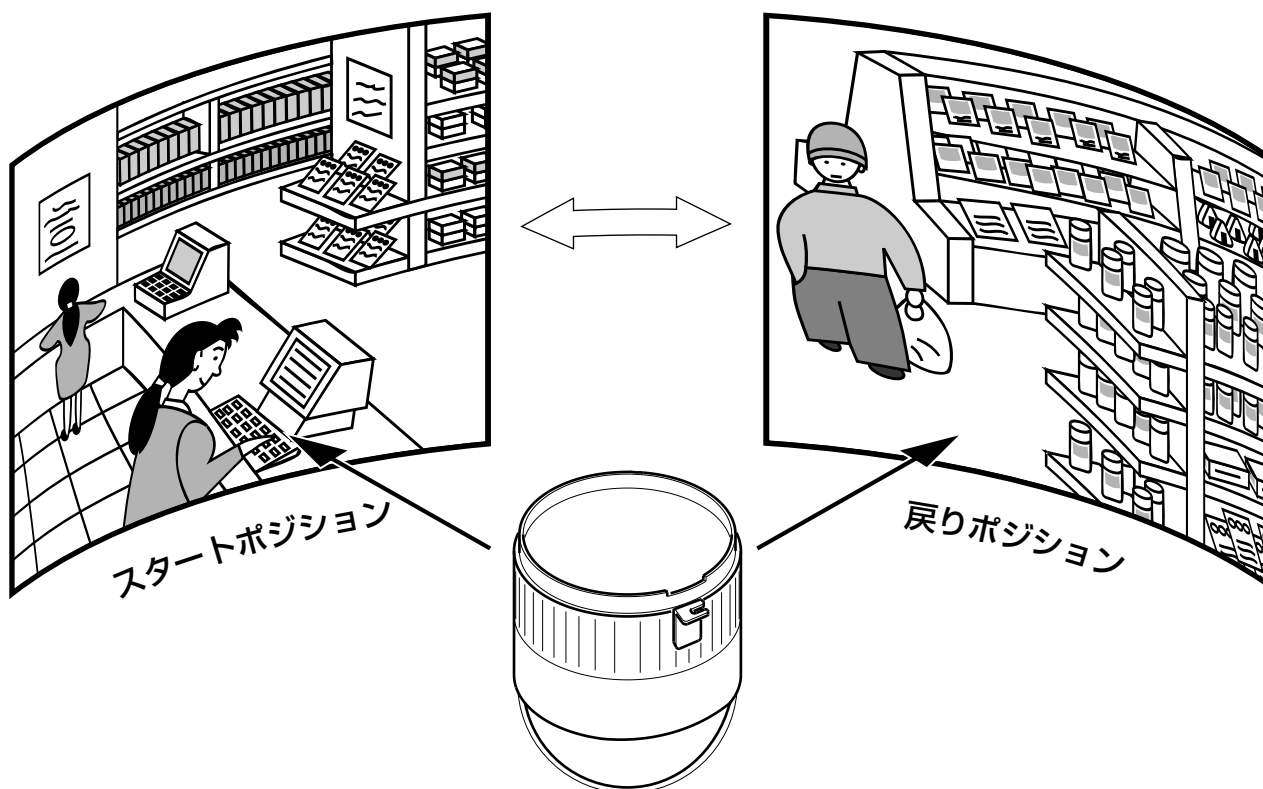
操作 (つづき)

オート操作

オートパン動作

あらかじめ設定されたポジション間を一定の速さでゆっくり水平方向に往復します。2つのポジション間の映像を見たいときに設定します。

スタートポジションと戻りポジションの設定は、各カメラごとに、カメラ側のメニューでおこないます。



オートパンボタン

1. [オートパン]を押す



- [オートパン] ボタンが点灯します。
- その時点で選択されているカメラ、(もしくはポジションを映しているカメラ)がオートパン動作を開始します。

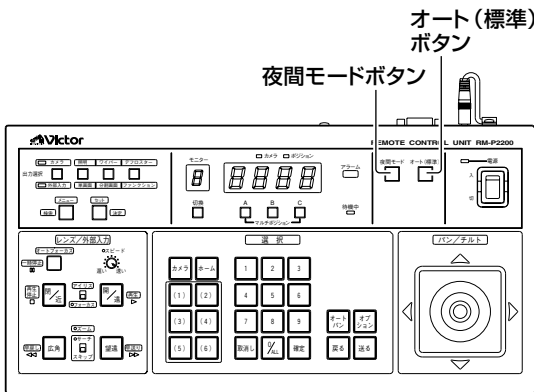
メモ

- オートパン動作の設定はカメラ側のメニューでおこないます。通常メニュー画面を起動させ(☞30ページ)カメラメニュー設定項目でカメラ側のメニューを呼び出して設定します。接続カメラの種類によって、メニューが異なりますので詳しくは、カメラの『取扱説明書』をご覧ください。
- システム設定「カメラタイプ/標準状態設定」項目(☞34ページ)で、標準状態の設定が「オートパン」に設定されている場合、オート(標準)モード時、(☞19ページ)オートパン動作をしながらシーケンス動作(オートシーケンスのみ)します。

その他の機能

オート(標準)モード

[オート(標準)] ボタンをONにすると、全てのカメラ、モニターの状態がオート(標準)モードになります。オート(標準)モードの設定はシステム設定「モニター1の出力設定」項目(☞36ページ)および「モニター2～5の出力設定」項目(☞37ページ)でおこないます。



メモ

- シーケンス動作中、[夜間]、[照明]、[ワイパー]、[デフロスター] ボタン以外の手動操作は、一切できません。(メニュー操作は可能です。)

■ オート(標準)モードにする

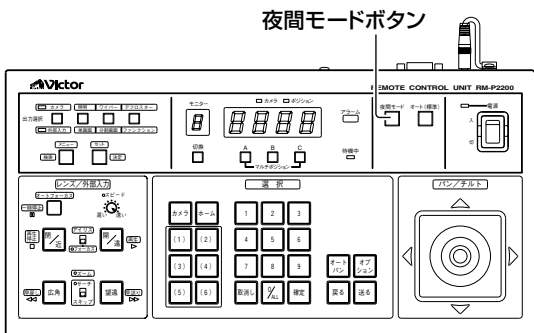
[オート(標準)]を押す



- [オート(標準)] ボタンが点灯し、全てのカメラ(アラーム中のカメラも解除され)、モニター1の状態がオート(標準)モードになります。
- モニター2～5は、該当するモニターが表示可能なカメラのみオート(標準)モードになります。ただし、アラーム中のカメラ、他のモニターによりオート(標準)モード以外の状態が表示されているカメラはオート(標準)モードにはなりません。
- シーケンス動作が開始され、[カメラポジション] 表示部にカメラ番号が順番に表示されます。
- シーケンス動作中、手動操作はできません。
- 解除する場合は、もう一度 [オート(標準)] ボタンを押します。

夜間モード

[夜間モード] ボタンをONにすると、あらかじめ夜間モードの設定をされているカメラが、夜間モードになります。



メモ

- 夜間モードの設定はカメラ側のメニューでおこないます。通常メニュー画面(☞30ページ)を起動させ、カメラメニュー設定項目で、カメラ側のメニューを呼び出して設定します。接続カメラの種類によって、メニューが異なりますので詳しくは、カメラの『取扱説明書』をご覧ください。

■ 夜間モードにする

[夜間モード]を押す



- [夜間モード] ボタンが点灯し、約1分後に夜間モードになります。システム設定「夜間モードタイマー設定」項目(☞35ページ)での設定が、2分の場合、2分後に夜間モードに切り換わります。
- タイマー動作中は [夜間モード] ボタンが点滅します。
- 夜間モードを解除する場合は、もう一度 [夜間モード] ボタンを押します。

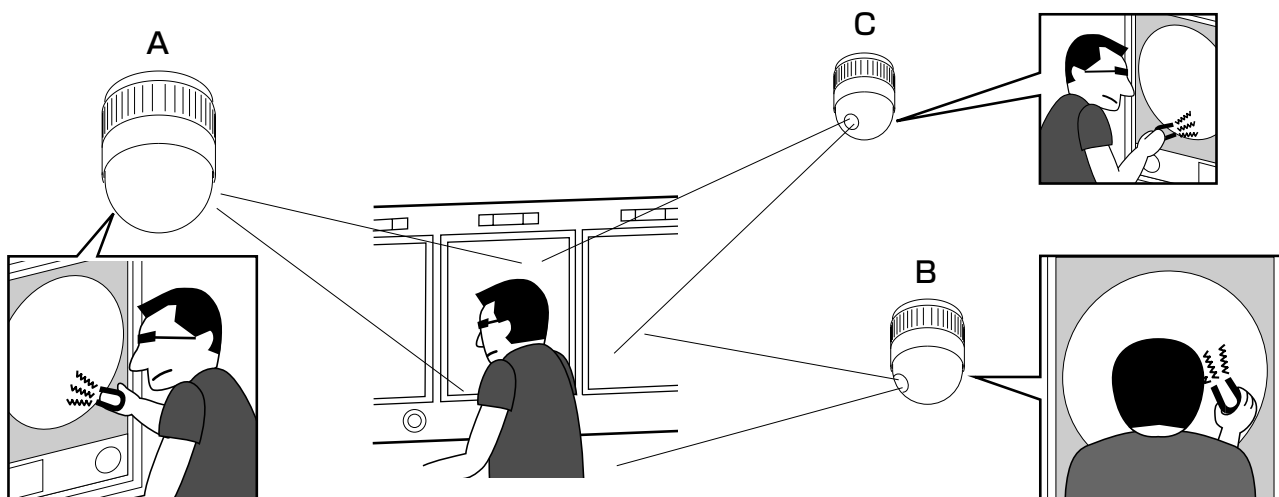
操作 (つづき)

その他の機能 (つづき)

マルチポジションの選択

1つのポジションで最大3台のカメラで死角ができないよう別々の方向からとらえる事ができます。マルチポジションの設定は、プリセットポジション設定のポジション登録(☞48ページ)でおこないます。

例) パチンコ店での場合

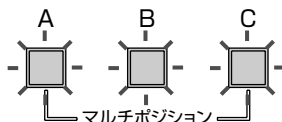
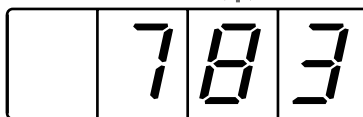


■ マルチポジション設定がされると

プリセットポジションを選択したとき (☞12ページ)

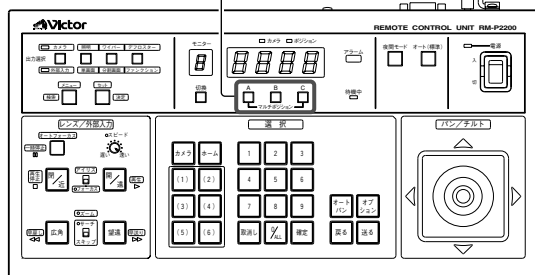
例) 783ポジションで、A、B、Cポジションが設定されている場合

□ カメラ  ポジション



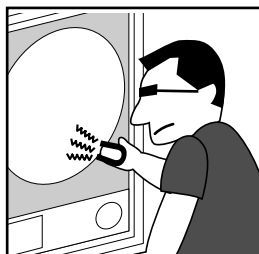
- 登録されている全ての「マルチポジション」表示灯が点灯します。
- このとき、モニターには、783ポジションのAポジションに設定されている、カメラの映像がうつります。

マルチポジション
ボタン

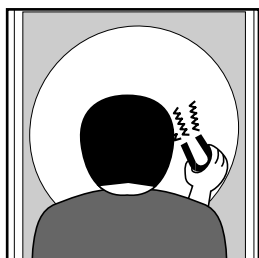
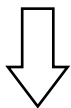


メモ

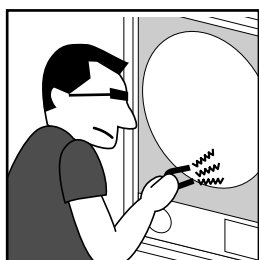
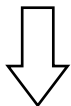
マルチポジション設定(☞48ページ)がされていないポジションでは、「マルチポジション」表示灯は、消灯したままです。



Aポジションの映像



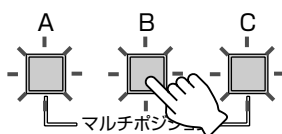
Bポジションの映像



Cポジションの映像

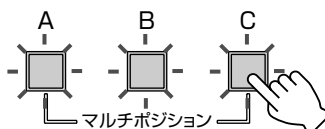
■ポジションの映像を見るには…

[マルチポジション]Bを押す



- モニターの映像が、Aポジションのカメラの映像から、Bポジションに設定されているカメラの映像に切り換わります。

[マルチポジション]Cを押す



- モニターの映像が、Bポジションのカメラの映像からCポジションに設定されているカメラの映像に切り換わります。

操作 (つづき)

その他の機能 (つづき)

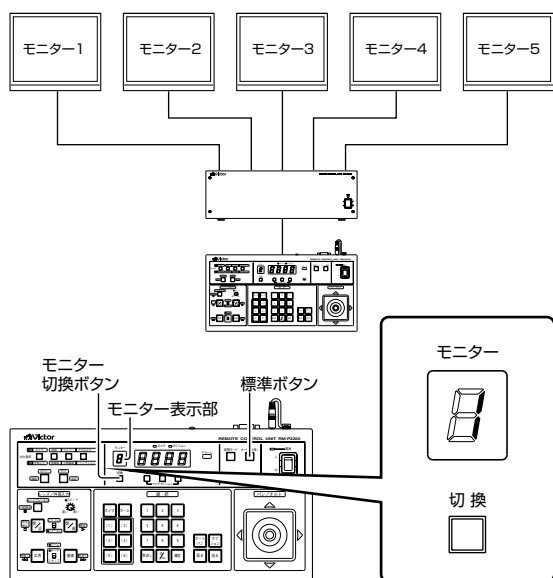
モニターの切り換え

モニター切換ボタンで、操作できるモニターの選択がおこなえます。

■ RM-P2200 1台と複数台 (最大5台) のモニターが接続されたシステムの場合

操作できるモニター出力の番号が表示されます。

(モニター出力番号は **SW-2200** 背面部 MONITOR OUTPUT 端子番号に対応しています)



モニター切換ボタンを押すごとに、モニター出力番号が切り換わります。

● オート(標準)ボタン

オート(標準)ボタンでのオートシーケンスのON/OFFは、選択されたモニター番号にのみ有効で、他のモニターはON/OFFすることはできません。

● カメラの選択

選択できるカメラは各モニターごとに設定できます。設定は、モニター出力ごとに「表示カメラ/オートシーケンス選択」項目(☞37ページ)でおこないます。ただし、モニター1はマスターモニターのため、オートシーケンスは表示の「あり」、「なし」は選択できますがカメラ選択の「あり」、「なし」は設定できません。

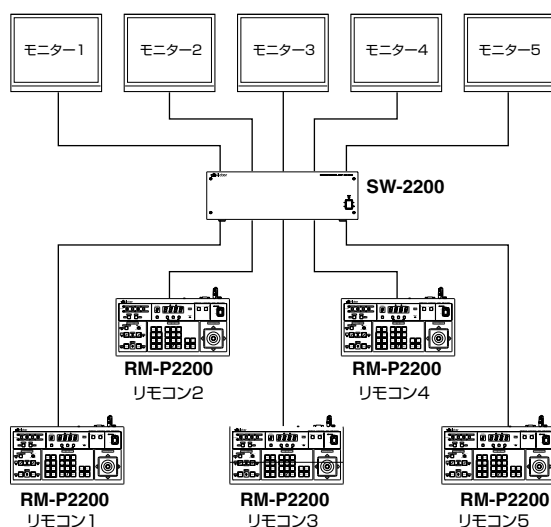
● リモコン 1

リモコン1で選択できるモニターは、システム設定画面「リモコン1使用モニター台数」で設定します。(☞34ページ)

■ RM-P2200 5台と複数台 (最大5台) のモニターが接続されたシステムの場合

リモコンとモニターは1対1に対応しています。(モニター2を制御できるのはリモコン2、モニター3を制御できるのはリモコン3...)ただし、リモコン1のみシステム設定「リモコン1使用モニター台数」項目の設定(☞34ページ)により、複数のモニターを制御することができます。リモコンとモニターを複数台接続する場合、「リモコン1使用モニター台数」の設定(☞34ページ)を「1台」以外に設定すると、モニターを制御できないリモコンの[カメラ/ポジション]表示部に「Err2」と表示されます。

※各リモコンのモニター切換ボタンを押している間、操作可能なモニター番号が表示されます。



● リモコン1(SW-2200背面部 TO RM-P2200. 1に接続されたリモコン)

上図のリモコン1台のシステムと同様に、全てのモニター出力操作がおこなえます。操作できるモニターは、システム設定画面「リモコン1使用モニター台数」で設定します。(☞34ページ)

● リモコン2(SW-2200背面部 TO RM-P2200. 2に接続されたリモコン)

モニター2の操作のみおこなえます。

● リモコン3(SW-2200背面部 TO RM-P2200. 3に接続されたリモコン)

モニター3の操作のみおこなえます。

● リモコン4(SW-2200背面部 TO RM-P2200. 4に接続されたリモコン)

モニター4の操作のみおこなえます。

● リモコン5(SW-2200背面部 TO RM-P2200. 5に接続されたリモコン)

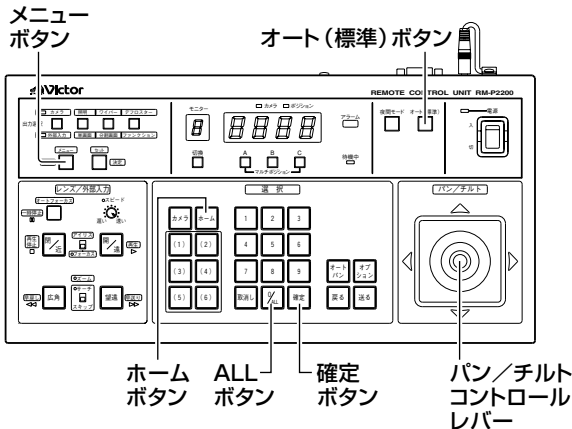
モニター5の操作のみおこなえます。

メモ

複数のリモコンで同時に操作をおこなうと、通信制御カメラなどの動作が一時的に遅くなることがありますが、故障ではありません。

アラーム動作・解除について

アラーム入力があると、アラームポジション映像に切り換わり、アラーム表示灯が点灯するなどのアラーム動作になります。



メモ

アラーム表示灯について

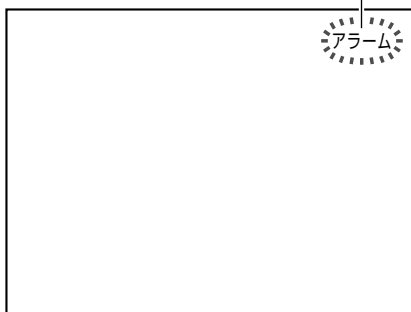
アラーム表示灯は、モニターのカメラ映像状態と一致しますが、リモコンの [カメラ/ポジション] 表示部に表示される、ポジション番号とは一致しない場合があります。

- 点灯：表示中のカメラにアラームが入った時。
- 点滅：表示中のカメラが非アラーム状態で、モニター出力に表示可能なカメラにアラームが入った時。
- 消灯：モニター出力に表示可能なカメラ以外のカメラにアラームが入ったとき。(アラーム入力があっても)

アラーム検索について

- システム設定の「リモコンオプションキー」項目が、「アラーム切替」に設定されていると、複数のアラームが入力した場合 [オプション] ボタンを押す度に、アラームカメラの切替がおこなえます。

アラーム文字



(表示例)

メモ

- アラーム状態のカメラを表示中、(アラーム表示灯は点灯)リモコンでの [パン/チルト] 操作、およびレンズ操作はできません。
- アラーム状態のカメラがあるとき(アラーム表示灯は点灯あるいは点滅)メニューの起動はできません。
- メニュー画面表示中は、アラームを受け付けません。

アラーム動作

登録されているプリセットポジションにアラーム入力があると、本システムは以下のアラーム動作をおこないます。

- カメラはアラーム入力のあったポジションを追尾します。
- モニターの映像がアラーム動作中のカメラ映像に切り換わります。
- リモコンパネル上のアラーム表示灯が点灯します。
- [カメラ/ポジション] 表示部にアラーム入力のあったポジション番号を表示します。
- オート動作(オートシーケンス、プリセットシーケンス、オートパン)はアラーム動作中停止し、[オート(標準)] 表示灯、[オートパン] 表示灯は消灯します。
- カメラ側で設定されたアラーム文字をモニター上に表示します。

アラーム入力時のモニター1 制御はメニュー設定により、以下の2つのモードを選択可能です。(設定 51 ページ)

マニュアル優先モード

モニター1で監視しているカメラをマニュアル操作しているとき、そのカメラをアラーム動作させないようにします。ただし、以下の場合はアラーム動作を行いません。

- オート(標準)状態
- ホームポジション状態
- オートパン中
- カメラ側のアラームが入ったとき(55 メモ)
- 操作中のカメラがアラーム対象ポジションのプリセット登録に使用されていない場合は、アラーム映像をモニター2~5に出力します。
- アラーム制御パターンが「一斉」もしくは「補完」の場合は、アラーム対象ポジションに対してマルチポジション登録されているカメラがあれば、そのカメラがアラーム動作をおこない、アラーム映像をモニター2~5に出力します。

メモ

- マニュアル優先モードは、SW-2200 のアラーム端子に入力したアラーム信号にのみ有効です。カメラ側のアラームが入った場合は、マニュアル優先に設定されていてもアラーム動作を行います。

アラーム優先モード

メニュー表示中以外はアラームを優先し、アラーム動作となります。

アラーム解除

自動解除

設定時間(51 ページ「アラーム戻り時間」)が過ぎると、アラームは自動的に解除されます。

- カメラはアラーム入力前のポジションに戻ります。
- モニター映像がアラーム入力前のカメラ映像に戻ります。
- アラーム表示灯が消灯します。
- オート動作(オートシーケンス、プリセットシーケンス、オートパン)に戻ります。
- アラーム文字が消えます。(アラーム文字の表示は、接続カメラの種類によって異なります。)

手動解除

下記の操作によりアラームが解除されます。(手動解除が有効なのは、モニター1の操作時のみです。)

- カメラ選択する。(別のカメラに切り換わり解除)
- ポジションを選択する。(別のポジションに切り換わり解除)
- [オート(標準)] ボタンを押す。(アラーム解除後シーケンス動作を開始、全てのアラームを解除)
- [オートパン] ボタンを押す。(表示中のアラーム解除後、オートパン動作開始)
- マルチポジションの選択をする。(選択したマルチポジションの映像に切り換わって解除)
- [確定] ボタンを押す。(アラーム画面表示のまま解除)

複数のアラームを同時に解除するには

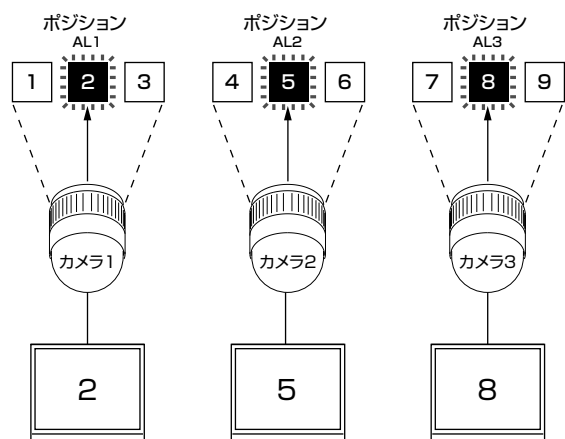
- [ホーム] ボタン→[ALL] ボタン→[確定] ボタンの順に押すとアラーム解除後全てのカメラがホームポジションに戻ります。

操作 (つづき)

その他の機能 (つづき)

アラーム制御パターンについて

アラーム時の動作はシステム設定項目の「アラーム制御パターン」項目の設定により標準・一斉・補完動作、のいずれかを選択可能です。(P.34 ページ)

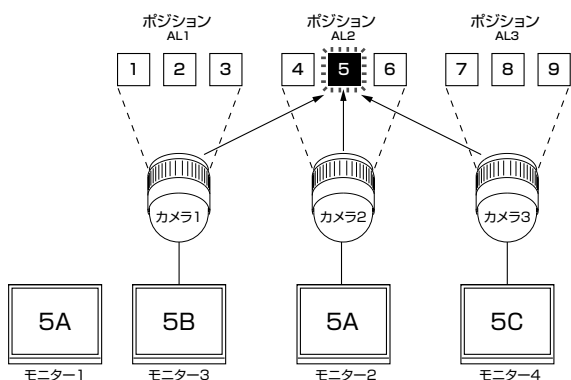


■ 標準

- AL1.** ポジション2 にアラームが入ると、カメラ1 の映像がポジション2に切り換わります。
- AL2.** 続けて、ポジション5 にアラームが入ると、カメラ2 の映像がポジション5に切り換わります。
- AL3.** 続けて、ポジション8 にアラームが入ると、カメラ3 の映像がポジション8に切り換わります。

設定条件

- ポジション1～3はカメラ1で、ポジション4～6はカメラ2で、ポジション7～9はカメラ3で登録されている場合
- 「アラーム制御パターン」項目を“標準”に設定

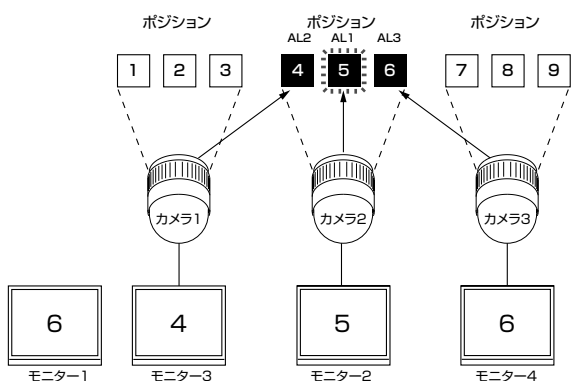


■ 一斉

ポジション5にアラームが入ると、カメラ1、カメラ2、カメラ3の映像が同時にポジション5に切り換わります。

設定条件

- 「プリセットポジション設定」画面において、マルチポジションA、B、Cを設定する。
- A ポジションをカメラ2 のポジション5 に設定
- B ポジションをカメラ1 のポジション5 に設定
- C ポジションをカメラ3 のポジション5 に設定
- アラーム制御パターン項目を“一斉” [モニター3台] に設定



■ 補完

- AL1.** ポジション5 にアラームが入ると、カメラ2 の映像がポジション5に切り換わります。
- AL2.** 続けて、ポジション4 にアラームが入ると、カメラ1 の映像がポジション4に切り換わります。(カメラ2は切り換わらない)
- AL3.** 続けて、ポジション6 にアラームが入ると、カメラ3 の映像がポジション6に切り換わります。(カメラ1、カメラ2とも切り換わらない)

設定条件

- 「プリセットポジション設定」画面において、マルチポジションA、B、Cを設定する。
- ポジション4のAをカメラ2、Bをカメラ1、Cをカメラ3に設定
- ポジション5のAをカメラ2、Bをカメラ1、Cをカメラ3に設定
- ポジション6のAをカメラ2、Bをカメラ1、Cをカメラ3に設定
- アラーム制御パターン項目を“補完” [モニター3台] に設定

■アラーム制御パターンとアラーム入力時制御できるモニター出力の関係

システム設定「アラーム制御パターン」項目(☞34ページ)の設定で、各リモコンで制御できるモニター、およびアラーム入力時、モニターに表示されるカメラ映像が異なります。

下の表は、アラーム制御パターンごとにモニター1~5(※1)を制御できるリモコン1~5(※2)を表しています。A、B、C登録のカメラとは、マルチポジションA,B,Cに登録されたカメラです。

(※1)SW-2200の背面MONITOR OUTPUT1~5に接続されたモニター

(※2)SW-2200の背面TO RM-P2200 1~5に接続されたリモコン

アラーム制御パターン		モニター1	モニター2	モニター3	モニター4	モニター5
標準	モニター表示	最新アラームだけを表示				
	制御可能リモコン	リモコン1	リモコン1 または リモコン2	リモコン1 または リモコン3	リモコン1 または リモコン4	リモコン1 または リモコン5
一斉 [モニターなし]	モニター表示	最新アラームのA登録カメラだけを表示				
	制御可能リモコン	リモコン1	リモコン1 または リモコン2	リモコン1 または リモコン3	リモコン1 または リモコン4	リモコン1 または リモコン5
一斉 [モニター2台]	モニター表示	最新アラームのA登録カメラを表示	最新アラームのA登録カメラを表示	最新アラームのB登録カメラを表示	最新アラームのA登録カメラを表示	
	制御可能リモコン	リモコン1	アラーム専用のため操作不可	アラーム専用のため操作不可	リモコン4	リモコン5
一斉 [モニター3台]	モニター表示	最新アラームのA登録カメラを表示	最新アラームのA登録カメラを表示	最新アラームのB登録カメラを表示	最新アラームのC登録カメラを表示	最新アラームのA登録カメラを表示
	制御可能リモコン	リモコン1	アラーム専用のため操作不可	アラーム専用のため操作不可	アラーム専用のため操作不可	リモコン5
補完 [モニターなし]	モニター表示	最新アラームの追尾カメラを表示				
	制御可能リモコン	リモコン1	リモコン1 または リモコン2	リモコン1 または リモコン3	リモコン1 または リモコン4	リモコン1 または リモコン5
補完 [モニター2台]	モニター表示	最新アラームの追尾カメラを表示	最新あるいは1つ前のアラームの追尾カメラをモニター2と3で交互に表示		最新アラームの追尾カメラを表示	最新アラームの追尾カメラを表示
	制御可能リモコン	リモコン1	アラーム専用のため操作不可	アラーム専用のため操作不可	リモコン4	リモコン5
補完 [モニター3台]	モニター表示	最新アラームの追尾カメラを表示	最新~2つ前までのアラームの追尾カメラをモニター2、3、4の順に繰り返し表示			最新アラームの追尾カメラを表示
	制御可能リモコン	リモコン1	アラーム専用のため操作不可	アラーム専用のため操作不可	アラーム専用のため操作不可	リモコン5

■ はアラーム専用モニター

- ・アラーム制御パターンを、一斉〔モニター2台〕、一斉〔モニター3台〕、あるいは補完〔モニター2台〕、補完〔モニター3台〕に設定すると、モニター2、3、もしくはモニター2、3、4はアラーム専用モニターとなり、一斉追尾時のマルチポジション表示あるいは補完追尾時の複数アラーム表示専用となります。(■ アラーム専用モニター)
- ・一斉〔モニターなし〕、あるいは補完〔モニターなし〕に設定した場合、アラーム入力があるとマルチポジション登録されているカメラは、一斉あるいは補完追尾をおこないますが、モニター画面上は最新のアラーム映像のみを表示します。

■アラーム専用モニター

- ・アラーム専用モニターはリモコンによる操作ができません。
- ・アラーム専用モニターを使用する場合、リモコン1ではモニター1以外は制御できません。
- ・アラーム専用モニターを使用する場合、モニター2、3(またはモニター2、3、4)の出力設定(☞37ページ「モニター2~5出力設定」)は無効となり、アラーム入力により全てのカメラが表示されます(オートシーケンスはしません)。
- ・電源OFF→ON時、アラーム専用モニターには表示できる最小カメラ番号の映像を出力します。それ以降はアラーム入力がある度にアラーム動作(アラームカメラ映像の表示)をおこない、アラーム解除後はアラーム追尾したカメラが標準状態に戻り、その映像を表示したままになります。

操作 (つづき)

その他の機能 (つづき)

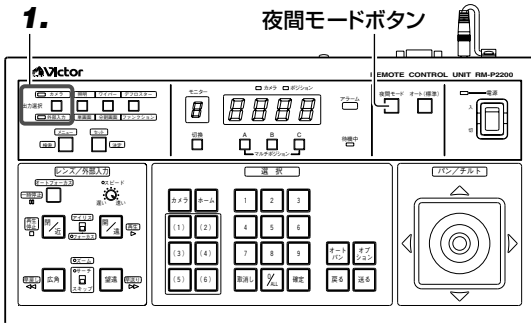
デジタルビデオレコーダー〈VR-777(別売)〉の操作

システム設定の「外部制御設定」(☞35 ページ)の設定が必要です。

デジタルビデオレコーダーVR-777の詳しい操作については、CD-ROM内「RMP2200CONTROL.pdf」をご覧ください。

1.

夜間モードボタン



1. [出力選択]を押し、“外部入力”を選択する

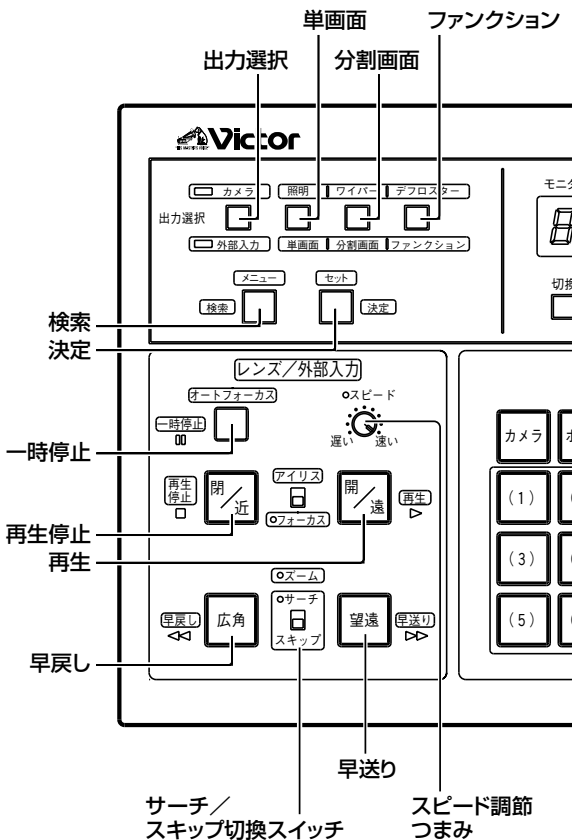


- [外部入力]表示灯が点灯します。
- デジタルビデオレコーダーの操作ができるようになります。

メモ

• 複数台のモニターを使用する時、カメラ選択時の各モニター出力は、出力選択が“カメラ”の場合と“外部入力”の場合とで異なる場合があります。詳しくは、VR-777添付のCD-ROM内「RMP2200CONTROL.pdf」をご覧ください。

VR-777 VIDEO IN 端子に SW-2200 を経由せず直接つないだカメラの映像選択は、RM-P2200からおこなえません。その場合は、VR-777 本体で操作してください。
また、そのカメラにアラーム入力があった場合は、アラーム検索メニューで再生できますが、RM-P2200のカメラ番号表示と異なります。



■ 外部入力時のボタンの役割

[ファンクション] : VR-777 を複数台制御している時、[ファンクション]ボタンを押しながら [戻る] [送る] ボタンを操作すると、別のVR-777の先頭カメラにジャンプします。

[分割画面] : 分割画面選択 (EEモード : 4あるいは16分割画面 / 再生モード : 4分割画面)

[単画面] : 単画面選択

[検索] : 検索メニューを起動します。

[決定] : 検索メニュー内での確定をします。

[一時停止] : 再生中に押し、静止画再生状態になります。

[再生停止] : 再生モードから EE モードに移行します。

[再生] : 記録映像を再生します。

[早戻し] : 早戻し、もしくは頭出しをします。

[早送り] : 早送り、もしくは頭出しをします。

[スピード調節つまみ] : 早戻し/早送りのスピードを以下のいずれかの方法で設定します。

・調節つまみでサーチスピード設定をしてから [早戻し] [早送り] で実行

・ [早戻し] [早送り] を押しながら調節つまみでサーチスピード調節

[夜間モード] : タイマーモードと連動させることができます。(メニューで設定 ☞35 ページ)

メモ

• [早戻し][早送り]ボタンは、[サーチ/スキップ]切換スイッチにより、サーチ(コマ送り再生機能)とスキップ(頭出し機能)の2つの機能を持っています。

システムをはじめに組んだ場合やカメラを入れ換えた場合は、各ポジションの設定やタイトル設定を必ずおこなってください。設定は33ページ「設定手順」に従っておこなってください。

はじめに

正しくお使いいただくためのご注意	2
特長	2
付属品・添付物	2
目次	3
各部の名称とはたらき	4

操 作

操作の前に	7
手動操作	8
オート動作	16
その他の機能	19

設 定

メニュー画面の流れ	28
メニューの基本操作	
・メニュー画面を起動させる	30
・設定値を変える	32
設定手順	33
システム設定(初期設定)	34
・モニター1の出力設定(モニター出力設定をモニター1に設定時)	36
・モニター2～5の出力設定(モニター出力設定をモニター2～5に設定時) ..	37
カメラタイトル、ホームポジションタイトルの設定(カメラ側のメニュー)	38
ホームポジション設定	39
プリセットポジション設定	42
・カテゴリタイトルの設定	46
・プリセットポジションの登録	48
アラーム設定	51
アラームメニューの設定	51
設定時のメッセージ表示について	52
カテゴリボタン表示のはりかえ	53
キーロック(誤操作防止)	54
設定切換スイッチ	55

そ の 他

故障かな?と思ったら	56
保証とアフターサービス	58
仕様	59

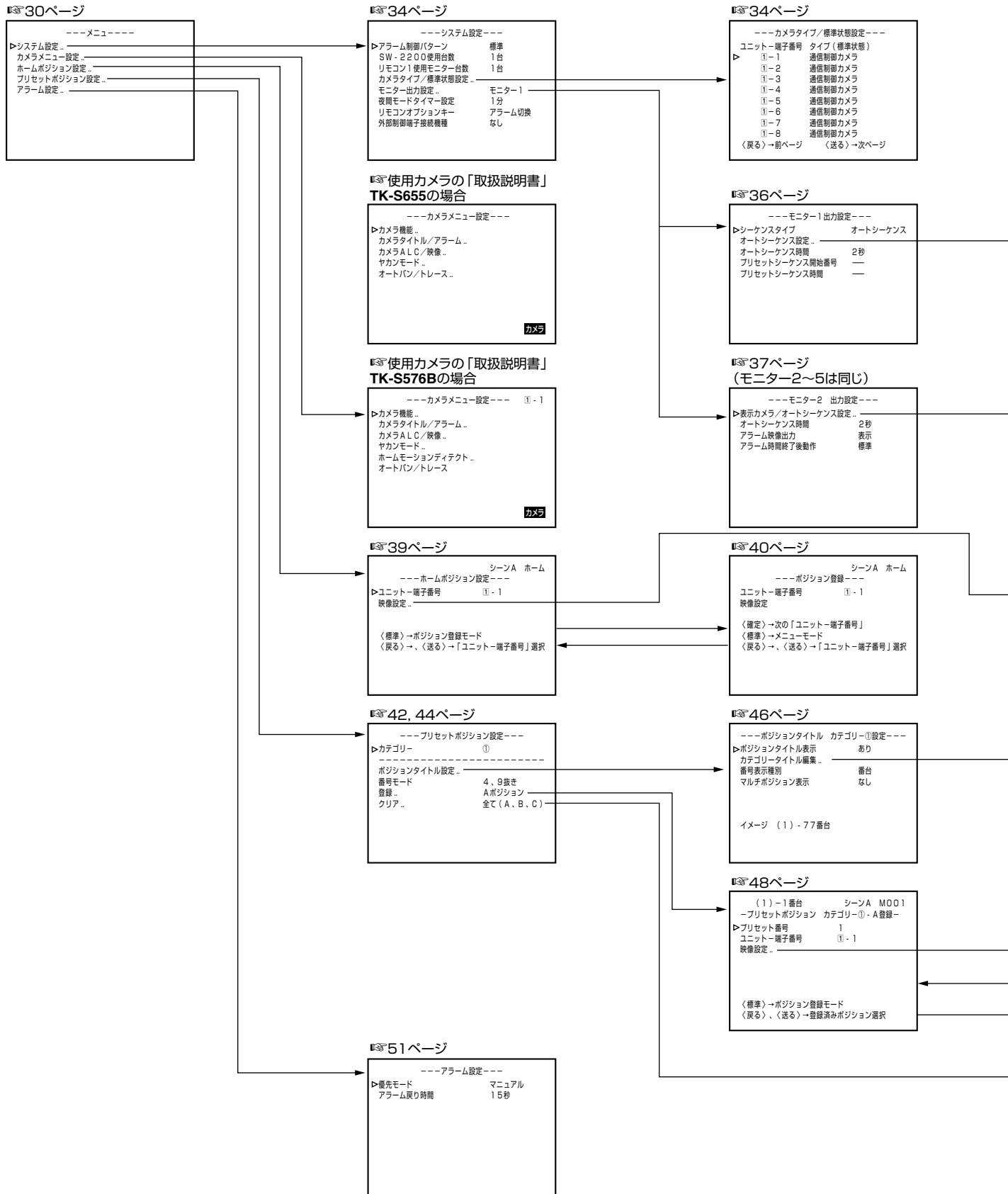
設定方法

メニュー画面の流れ

メニュー画面には通常メニューとアラーム専用メニューがあり、それぞれ下記のような画面の流れとなっています。

- メニューの設定は33ページ「設定手順」にしたがっておこなってください。
- メニューの操作は、30ページ「メニューの基本操作」をご覧ください。

■ 通常メニュー画面（パスワード「2222」）



■ アラームメニュー (パスワード「3333」)

☞51ページ

---アラームメニュー---

▶非アラーム制御カメラ設定..

特定アラーム制御種別設定..

☞51ページ

---非アラーム制御カメラ設定---

▶ユニット端子番号設定1	なし
ユニット端子番号設定2	なし
ユニット端子番号設定3	なし
ユニット端子番号設定4	なし
ユニット端子番号設定5	なし
ユニット端子番号設定6	なし
ユニット端子番号設定7	なし
ユニット端子番号設定8	なし

☞36ページ

---モニター1 オートシーケンス設定---

ユニット-端子番号	シーケンス表示
①-1	あり
①-2	あり
①-3	あり
①-4	あり
①-5	あり
①-6	あり
①-7	あり
①-8	あり

〈戻る〉→前ページ 〈送る〉→次ページ

☞37ページ

(モニター2~5は同じ)

---モニター2 表示カメラオートシーケンス設定---

ユニット-端子番号	表示
①-1	オートシーケンス
①-2	オートシーケンス
①-3	オートシーケンス
①-4	オートシーケンス
①-5	オートシーケンス
①-6	オートシーケンス
①-7	オートシーケンス
①-8	オートシーケンス

〈戻る〉→前ページ 〈送る〉→次ページ

☞使用カメラの「取扱説明書」

---ポジション映像設定--- ①-1

▶映像設定.. シーンA

カメラ

☞使用カメラの「取扱説明書」

---映像設定 シーンA--- ①-1

▶アイリスモード AUTO

AVERAGE/PEAK 8:2

ExDRモード OFF

ExDRレベル ---

BLC OFF

ホワイトバランス ATW

R-Gゲイン ---

M-Gゲイン ---

カメラ

☞46ページ

---カテゴリ①タイトル編集---

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 アイウエオカキケコサ
 シスセソタツツテオニスヌヒフヘホマム
 メモヤヨラリルリロワヲンフイウエオヤユョ
 ガギグゴザジズゼゾヂヅドバビブベバビ
 プペポA B C D E F G H I J K L M N O P Q R S
 T U V W X Y Z . , ' - : / () <

←〈広角〉 〈望遠〉→ 〈取消〉→やりなおし
 (1)←

☞49ページ

(1)-1番台 シーンA M001

---ポジション カテゴリ①-A登録---

プリセット番号 1

ユニット-端子番号 ①-1

映像設定

〈標準〉→メニューモード
 〈確定〉→次のプリセット番号
 〈戻る〉、〈送る〉→登録済みポジション選択

☞使用カメラの「取扱説明書」

---ポジション映像設定--- ①-1

▶映像設定.. シーンA

(1)-1番台

カメラ

☞使用カメラの「取扱説明書」

---映像設定 シーンA--- ①-1

▶アイリスモード AUTO

AVERAGE/PEAK 8:2

ExDRモード OFF

ExDRレベル ---

BLC OFF

ホワイトバランス ATW

R-Gゲイン ---

M-Gゲイン ---

(1)-1番台

カメラ

☞45ページ

(1)-1番台 シーンA M001

---プリセットポジション カテゴリ①クリア---

▶プリセット番号 全て(A、B、C)

〈確定〉→ポジションクリア
 〈戻る〉、〈送る〉→登録済みポジション選択

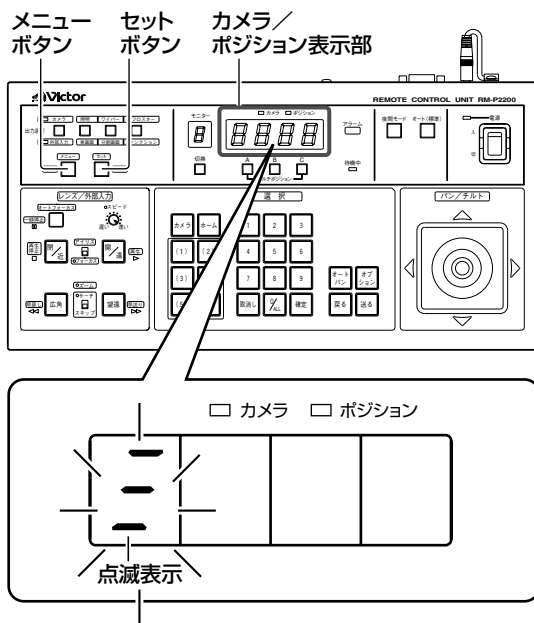
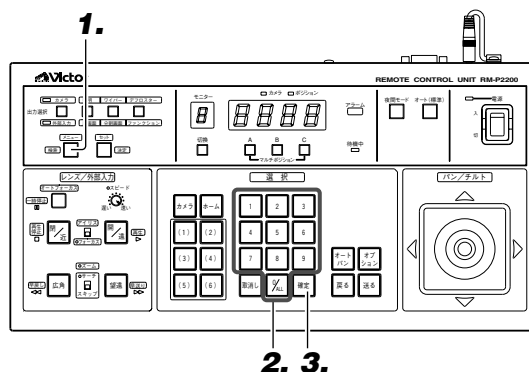
設定方法 (つづき)

メニューの基本操作

メニュー画面を起動させる

メニュー画面を起動させるには、下記の手順でパスワードの入力をおこなってください。

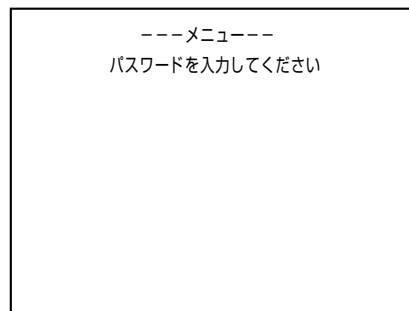
※ 実際の設定は「設定手順」(P.33ページ)に従っておこなってください。



1. [メニュー]を長押しする(約1秒)



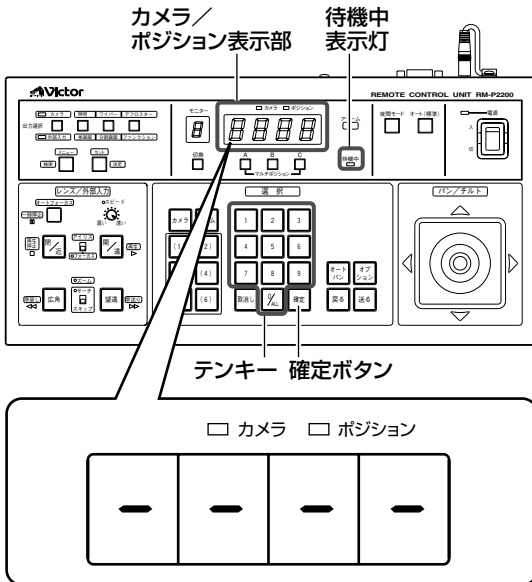
- “ピッ”と音がして、画面が黒くなり、パスワード入力画面が表示されます。
- [メニュー] ボタンが点灯します。
- [カメラ/ポジション] 表示部に「三」が点滅表示されます。



【パスワード入力画面】

メモ

パスワード入力画面表示中に、[メニュー]ボタンを押すと、メニュー画面を終了し、通常状態に戻ります。



メモ

パスワード

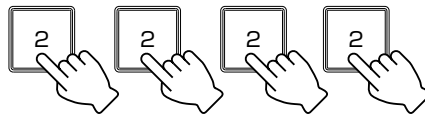
- 通常メニュー 「2222」
- アラームメニュー 「3333」
(☞51 ページ「アラームメニュー」)

メモ

- メニューの操作は、リモコン1 (SW-2200 の背面部、TO RM-P2200 の1 番端子に接続されたリモートコントロールユニット) のみで操作することができます。その時メニューは、モニター1 (SW-2200 の背面部、MONITOR OUTPUT1 の端子に接続されたモニター) に表示されます。
- メニュー操作中、リモコン1 以外のリモコンは[待機中]表示灯が点灯し、操作できません。
- メニュー操作中のアラーム入力は受けられません。

2. パスワードを入力する

例)通常メニューを起動させる場合



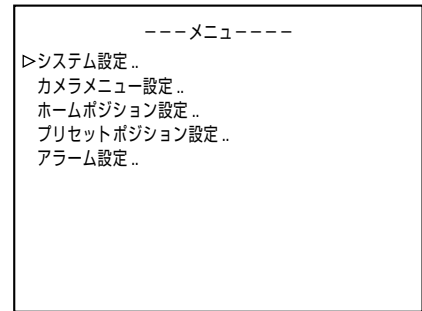
- [テンキー]で「2.2.2.2」と入力します。
- [カメラポジション表示部]に「----」と表示されます。

3. [確定]を押す



- パスワードに応じてメニュー画面が表示されます。

例)通常メニューの場合



[通常メニュー画面]

4. パスワードを間違えた場合

- 「パスワードが正しくありません」と約3秒間表示され、**1.**のパスワード入力待ち状態になるので、正しいパスワードを入力してください。



3秒間表示

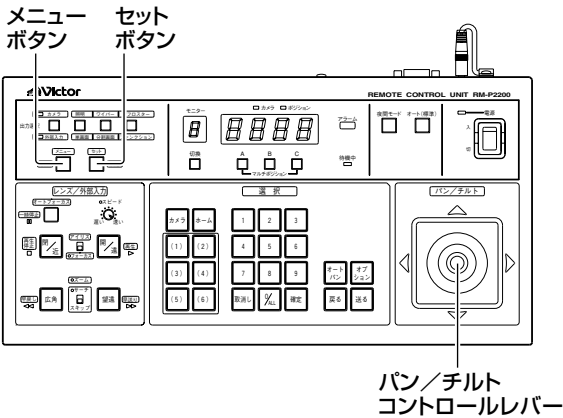
設定方法 (つづき)

メニューの基本操作 (つづき)

設定値を変える

設定値を変えるには下記の手順でサブメニューを表示しておこないます。

※ 実際の設定は、「設定手順」(P.33 ページ)にしたがっておこなってください。



メモ
 • 通常メニュー画面で [メニュー] ボタンを押すと、パスワード入力画面に戻ります。(P.30 ページ)

■ サブメニューを起動させる

1. メニュー画面を起動させる (P.30 ページ)

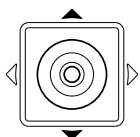
- モニターに通常メニュー画面が表示されます。

カーソル	サブメニューあり
---	メニュー----
▷システム設定..	
カメラメニュー設定..	
ホームポジション設定..	
プリセットポジション設定..	
アラーム設定..	

[通常メニュー画面]

2. [パン/チルト]コントロールレバーで項目を選ぶ(◆)

- 選択したい項目にカーソル(▷)をあわせます。
- 項目の後ろに「…」が付いているものにはサブメニューがあります。



3. [セット]を押す

- サブメニュー画面が表示されます。



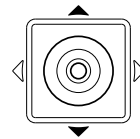
カーソル	サブメニューあり
---	システム設定---
アラーム制御パターン	標準
▷SW-2200使用台数	1台
リモコン1使用モニター台数	1台
カメラタイプ/標準状態設定..	
モニター出力設定..	モニター1
夜間モードタイマー設定	1分
リモコンオプションキー	アラーム切換
外部制御端子接続機種	なし

[システム設定画面]

■ 設定値を変更する

4. [パン/チルト]コントロールレバーで項目を選ぶ(◆)

- 設定値を変えたい項目にカーソル(▷)をあわせませす。

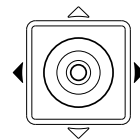


カーソル	サブメニューあり
---	システム設定---
アラーム制御パターン	標準
▷SW-2200使用台数	1台
リモコン1使用モニター台数	1台
カメラタイプ/標準状態設定..	
モニター出力設定..	モニター1
夜間モードタイマー設定	1分
リモコンオプションキー	アラーム切換
外部制御端子接続機種	なし

[システム設定画面]

5. [パン/チルト]コントロールレバーで設定値を変える(◀▶)

- 左右に動かすたびに値が変化します。



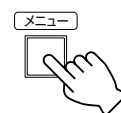
カーソル	サブメニューあり
---	システム設定---
アラーム制御パターン	標準
▷SW-2200使用台数	2台
リモコン1使用モニター台数	1台
カメラタイプ/標準状態設定..	
モニター出力設定..	モニター1
夜間モードタイマー設定	1分
リモコンオプションキー	アラーム切換
外部制御端子接続機種	なし

[システム設定画面]

■ 上位のメニュー画面に戻る

6. [メニュー]を押す

- 上位のメニュー画面に戻ります。



設定手順

システムをはじめて組んだ場合、以下の手順で設定してください。設定後は必ず **確認** をおこなってください。

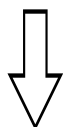
1. システム設定 (☞34 ページ)



接続された機器に関する設定(SW-2200 の台数、RM-P2200 ①で制御するモニターの台数など)をおこないます。

確認 「カメラを選択する」(☞8 ページ)、「モニターの切り換え」(☞22 ページ)など

2. カメラタイトルの設定 (☞ 使用カメラの『取扱説明書』)



全ての接続カメラのカメラタイトル、ホームポジションタイトルを設定します。(☞39 ページ)
設定は、通常メニュー画面でカメラメニュー設定項目を選択し、カメラメニュー画面でおこないます。
※次のカメラのカメラタイトルの設定をおこなう場合は、[送る] を押します。

確認 タイトル設定されたカメラ画面の左下に、設定したタイトルが表示されます。

3. ホームポジション設定 (☞39 ページ)



全ての接続カメラのホームポジションの画角(モニターに表示される映像)を設定します。

確認 「ホームポジションを選択する」(☞10 ページ)

(必要に応じておこないます)

4. ホームポジションの映像設定 (☞41 ページ)



設定したホームポジションごとに、アイリス、ExDR などの映像シーン設定をおこないます。
(☞ 詳細は使用カメラの『取扱説明書』)

(必要に応じておこないます)

5. 各カテゴリーのタイトル設定 (☞46 ページ)



「パチンコ」、「スロット」など、グループを表わすタイトル(カテゴリータイトル)を設定します。

6. プリセットポジション設定 (☞48 ページ)



接続カメラのポジションをカテゴリーごとに設定します。

確認 「プリセットポジションを選択する」(☞12 ページ)、ポジションタイトルの表示

(必要に応じておこないます)

7. プリセットポジションの映像設定 (☞50 ページ)



設定したプリセットポジションごとにアイリス、ExDR などの映像シーン設定をおこないます。
(☞ 詳細は使用カメラの『取扱説明書』)

(必要に応じておこないます)

8. アラーム設定 (☞51 ページ)

アラーム時の動作、表示に関する設定をおこないます

設定方法 (つづき)

システム設定 (初期設定)

システムに使用するSW-2200の台数やRM-P2200①に接続するモニターの台数を設定します。設定を間違えると、システムが正常に動作しません。また、システムを変更した場合も再度設定しなおしてください。

●は工場出荷時の値です。

項目	設定値	内容
アラーム制御パターン	<ul style="list-style-type: none"> ●標準 一斉(モニターなし) 一斉(モニター2台) 一斉(モニター3台) 補完(モニターなし) 補完(モニター2台) 補完(モニター3台) 	<p>マルチポジション設定されたカメラに、アラームが入った時の動作を設定します。</p> <p>標準 : アラームが続けて入ると、後から入ったアラームポジションの映像に切り換わります。(☞23ページ「アラーム動作・解除について」)</p> <p>一斉 : あるポジションにアラームが入った時、最大3台までのカメラが同一ポジション映像に、一斉に切り換わります。</p> <p>補完 : アラーム動作中のカメラに、続けて二番目のアラームが入った場合、アラーム中のカメラ映像は切り換わらず、別のカメラが二番目のアラーム映像に切り換わります。(映像“補完”)</p> <p>(モニターなし、2台、3台について)</p> <p>複数のアラームが入った時に、アラーム映像を表示するモニターについて設定します。</p> <p>モニターなし : アラーム映像に切り換わるモニターは、モニター1のみです。</p> <p>モニター2台 : アラーム映像1をモニター2に、アラーム映像2をモニター3に表示します。</p> <p>モニター3台 : アラーム映像1をモニター2に、アラーム映像2をモニター3に、アラーム映像3をモニター4に表示します。</p> <p>(☞20ページ「マルチポジションの選択」、☞24ページ「アラーム制御パターンについて」、☞42ページ「プリセットポジション設定」)</p>
SW-2200 使用台数	<ul style="list-style-type: none"> ●1台 2台 3台 4台 5台 	<p>接続するSW-2200の台数を設定します。</p> <p>設定を誤ると、カメラが正しく選択できません。</p>
リモコン1使用モニター台数	<ul style="list-style-type: none"> ●1台 2台 3台 4台 5台 	<p>リモコン①(SW-2200の背面部TO RM-P2200の1端子に接続されたリモートコントロールユニット)で制御できる、モニターの台数を設定します。</p> <p>3台に設定すると、モニター1, 2, 3の制御がおこなえ、モニター4, 5は制御できません。設定を誤ると制御できないモニターがでてきます。(☞22ページ「モニターの切り換え」)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> • アラーム制御パターンを(モニター2台)または(モニター3台)に設定した場合、使用モニター台数は“1台”に固定となり、本項目の設定値は、「- - -」と表示され、選択できません。 </div>
カメラタイプ/標準状態設定	<ul style="list-style-type: none"> ●通信制御カメラ 通信制御カメラ(オートパン) 非通信制御カメラ リレーボックス リレーボックス(オートパン) 接続なし 	<p>カメラ入力端子に接続されるカメラのタイプおよび、オート(標準)ボタンを押したオート(標準)状態時、オートパンするかどうかを設定します。</p> <p>TK-S576B、TK-S655は通信制御カメラです。</p> <p>■カメラタイプ/標準状態設定画面</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>---カメラタイプ/標準状態設定---</p> <p>ユニット-端子番号 タイプ(標準状態)</p> <p>▶ ①-1 通信制御カメラ</p> <p>①-2 通信制御カメラ</p> <p>①-3 通信制御カメラ</p> <p>①-4 通信制御カメラ</p> <p>①-5 通信制御カメラ</p> <p>①-6 通信制御カメラ</p> <p>①-7 通信制御カメラ</p> <p>①-8 通信制御カメラ</p> <p>〈戻る〉-前ページ 〈送る〉-次ページ</p> </div>

この項目は、接続された全てのカメラについて設定してください。

設定は「ユニット」と「端子番号」でおこないます。「ユニット」はSW-2200が複数台接続された場合、何番目に接続されたSW-2200かを表し、「端子番号」はSW-2200背面部、CAMERA INPUT端子の番号に対応しています。

※ カメラタイプ/標準状態設定画面は複数ページで構成されており、接続されたSW-2200の台数に応じて最大ページが異なります。

項目	設定値	内容
カメラタイプ/標準状態設定 (つづき) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての端子を「接続なし」に設定した場合は、画面上に“全ての端子を接続なしに設定できません”と表示されます。 リレーボックス(RB-5129)のシリアルNo. の下4桁の数字が、0469以前の商品は、オートパン機能は使用できません。 リレーボックスの電源を入れ直した場合、動作させていた、オートパン、照明、ワイパーおよびデフロスターの状態は復帰せずに、全て“OFF”となっておりますが、リモコンの各表示灯は点灯したままとなります。この場合は、一度、該当するボタンを押し、表示灯を消灯させて、再びボタンを押して動作を復帰させてください。 </div>		通信制御カメラ : 同軸多重通信制御ができるカメラ(コンビネーションカメラなど)で、オート(標準)状態をホームポジションに設定します。 通信制御カメラ(オートパン) : 同軸多重通信制御ができるカメラ(コンビネーションカメラなど)で、オート(標準)状態をオートパンに設定します。オートパン機能がないカメラをこの設定にしても、オートパンは機能しません。 非通信制御カメラ : 同軸多重で通信制御しないカメラの場合に設定します。 リレーボックス : 同軸多重通信制御するリレーボックス(RB-5129)で、オート(標準)状態をオートパンOFFに設定します。 リレーボックス(オートパン) : 同軸多重通信制御するリレーボックス(RB-5129)で、オート(標準)状態をオートパンに設定します。 接続なし : 端子にカメラを接続しないときに設定します。この設定にすると、手動選択も、オートシーケンス時の選択もおこなえません。
モニター出力設定 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> モニター1と、モニター2～5の設定画面は異なります。(P.36、37ページ) </div>	●モニター1 モニター2 モニター3 モニター4 モニター5	モニター出力1～5のオート(標準)状態時の動作などを、モニター出力ごとに設定します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>---モニター1出力設定---</p> <p>▷シーケンスタイプ オートシーケンス</p> <p>オートシーケンス設定.. —</p> <p>オートシーケンス時間 2秒</p> <p>プリセットシーケンス開始番号 —</p> <p>プリセットシーケンス時間 —</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>---モニター2 出力設定---</p> <p>▷表示カメラ/オートシーケンス設定..</p> <p>オートシーケンス時間 2秒</p> <p>アラーム映像出力 表示</p> <p>アラーム時間終了後動作 標準</p> </div> <p>■モニター1 出力設定画面 (P.36ページ 「モニター1の出力設定」)</p> <p>■モニター2(3～5も同様) 出力設定画面 (P.37ページ 「モニター2～5の出力設定」)</p>
夜間モードタイマー設定	なし ●1分 2分	夜間モードスイッチをOFFからONにしたとき、実際に夜間モード(強制白黒切換、強制モーションディテクトなど)に切り換わるまでの時間を設定します。夜間モードの設定は、カメラ側のメニューでおこないます。タイマー作動中は夜間モード表示灯が点滅します。 (P.19ページ「夜間モード」)
リモコンオプションキー	●アラーム切換 割当なし	[オプション] ボタンの機能の切り換えをおこないます。 アラーム切換 : 複数のアラームが入っている状態で[オプション]ボタンを押すと、アラームカメラの映像を順に切り換えモニター1に出力します。 割当なし : [オプション] ボタンを押しても映像は切り換わりません。
外部制御設定		[出力選択] ボタンが外部入力に設定されているときに制御する、接続機種等を設定します。
接続機種	●なし VR-777	AUX 端子(RS-232C)に接続し、制御する機種を選択します。
夜間モード制御	●タイマー連動あり タイマー連動なし	接続機種を“VR-777”に設定したとき、SW-2200の[夜間]ボタン制御にVR-777のタイマーモード制御を連動させるかどうかを設定します。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>メモ</p> <p>接続機種を“なし”に設定したときは「---」を表示し設定できません。</p> </div>		

設定方法 (つづき)

システム設定 (つづき)

モニター 1 の出力設定 (モニター出力設定をモニター 1 に設定時)

モニター 1 出力についての設定をおこないます。これらの項目を変えても、モニター 2～5 の出力は変更されません。

●は工場出荷時の値です。

項目	設定値	内容
シーケンスタイプ	●オートシーケンス プリセットシーケンス	<p>オート(標準)ボタンを押した時、モニター 1 出力の映像切換モード(シーケンスタイプ)を設定します。</p> <p>オートシーケンス：一定時間間隔で、カメラのホームポジション映像を切り換えてモニター 1 に表示します。 「オートシーケンス時間」 (☞17ページ「オートシーケンス動作」)</p> <p>プリセットシーケンス：一定時間間隔で、カテゴリ⑥のプリセットポジションに設定されているAポジションのカメラ映像を切り換えてモニター 1 に表示します。 「プリセットシーケンス開始番号」 「プリセットシーケンス時間」 (☞17ページ「プリセットシーケンス動作」)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> プリセットシーケンス設定はモニター出力1のカテゴリ⑥でのみ設定できません。カテゴリ⑥にプリセットポジションが設定されていないと、設定値をプリセットシーケンスにしても、カメラの映像は切り換わりません。 </div>
オートシーケンス設定	●あり なし	<p>モニター 1 出力のオートシーケンスで表示するカメラの設定をおこないます。「なし」に設定されたカメラはオートシーケンス動作のとき、映像出力されません。「なし」に設定しても、手動操作では選択できません。</p> <p>■オートシーケンス設定画面</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <pre> ---モニター1 オートシーケンス設定--- ユニット-端子番号 シーケンス表示 ▶ ⑤-1 あり ⑤-2 あり ⑤-3 あり ⑤-4 あり ⑤-5 あり ⑤-6 あり ⑤-7 あり ⑤-8 あり <戻る>->前ページ <送る>->次ページ </pre> </div> <p>※オートシーケンス設定画面は複数ページで構成されており、接続されたSW-2200の台数に応じて最大ページが異なります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> すべてのカメラを「なし」に設定した場合、オートシーケンスに設定してもモニター 1 の映像は切り換わりません。 シーケンスタイプが、「プリセットシーケンス」に設定されている場合、この項目は選択できません。 カメラタイプ/標準状態設定項目で、「接続なし」に設定された端子番号は「-」が表示されて、この項目は選択できません。 </div>
オートシーケンス時間	1 秒～30 秒 (●2 秒)	<p>オートシーケンス動作中のカメラの切換時間を設定します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> シーケンスタイプが、「プリセットシーケンス」に設定されている場合は、「-」が表示されて、この項目は選択できません。 </div>
プリセットシーケンス開始番号	●ポジション⑥-1 } 1 ポジション⑥-100	<p>プリセットシーケンス動作(☞17ページ)するときの、カテゴリ⑥の開始ポジションを設定します。設定値よりも前のポジションは、プリセットシーケンス中表示されません。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> シーケンスタイプが、「オートシーケンス」に設定されている場合は、「-」が表示されて、この項目は選択できません。 ポジション登録がされていなくても表示されます。 </div>
プリセットシーケンス時間	●10 秒 15 秒 20 秒 25 秒 30 秒	<p>プリセットシーケンス動作中のポジションの切換時間を設定します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> シーケンスタイプが、「オートシーケンス」に設定されている場合は、「-」が表示されて、この項目は選択できません。 </div>

この項目は、接続された全てのカメラについて設定してください。

設定は「ユニット」と「端子番号」でおこないます。「ユニット」はSW-2200が複数台接続された場合、何番目に接続されたSW-2200かを表し、「端子番号」はSW-2200背面部、CAMERA INPUT端子の番号に対応しています。

モニター 2～5 の出力設定(モニター出力設定をモニター 2～5 に設定時)

設定は、モニター出力ごと(モニター 2～5)におこないます。

●は工場出荷時の値です。

項目	設定値	内容
表示カメラ/オートシーケンス設定	●オートシーケンス カメラ選択のみ なし	<p>それぞれのモニター出力で、表示するカメラの設定をおこないます。</p> <p>オートシーケンス : 一定時間間隔で、各カメラのホームポジション映像を切り換え表示します。マニュアル選択もおこなえます。</p> <p>カメラ選択のみ : オートシーケンス設定時選択表示されません。マニュアル選択のみおこなえます。</p> <p>なし : オートシーケンス選択も、マニュアル選択もおこなえません。</p> <p>■表示カメラ / オートシーケンス設定画面</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>—モニター2 表示カメラオートシーケンス設定— ユニット-端子番号 表示</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ①-1 オートシーケンス ①-2 オートシーケンス ①-3 オートシーケンス ①-4 オートシーケンス ①-5 オートシーケンス ①-6 オートシーケンス ①-7 オートシーケンス ①-8 オートシーケンス <p>〈戻る〉→前ページ 〈送る〉→次ページ</p> </div> <p>※表示カメラ / オートシーケンス設定画面は複数ページで構成されており、接続された SW-2200 の台数に応じて最大ページが異なります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> すべてのカメラを「なし」に設定した場合、メニュー解除時に“全てのカメラを表示なしには設定できません”と表示されます。セットボタンを押すと再度本メニューが表示されます。 「オートシーケンス」がまったく設定されていない場合は、オートシーケンス状態になっても該当のモニタ出力は変化せず、アラーム動作後もモニターは切り換わりません。 カメラタイプ/標準状態設定項目で「接続なし」に設定された端子番号は「- - -」が表示されて、選択できません。 </div>
オートシーケンス時間	1 秒～ 30 秒 (● 2 秒)	オートシーケンス動作中のカメラの切換時間を設定します。
アラーム映像出力	●表示 表示しない	アラーム入力時に、アラームポジションのカメラ映像をモニター出力に表示するかどうかの設定をおこないます。
アラーム時間終了後動作	●標準 そのまま	<p>アラーム時間の終了後、該当のモニター出力をオート(標準)動作に戻すか、そのままにするか、を設定します。</p> <p>標準 : アラーム終了後にアラーム入力前の状態に戻ります。</p> <p>そのまま : アラーム入力のあった映像をアラーム終了後、メニューで設定した標準状態(☞34ページ「カメラタイプ/標準状態設定」項目)で出力します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> アラーム映像出力メニューで「表示しない」を選択した場合、「- - -」が表示され選択できません。 </div>

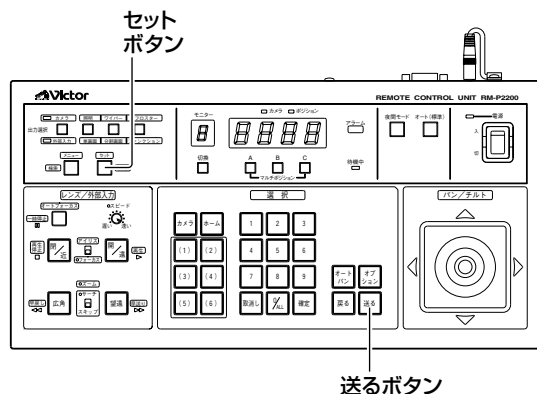
この項目は、接続された全てのカメラについて設定してください。

設定は「ユニット」と「端子番号」でおこないます。「ユニット」は **SW-2200** が複数台接続された場合、何番目に接続された **SW-2200** かを表し、「端子番号」は **SW-2200** 背面部、CAMERA INPUT 端子の番号に対応しています。

設定方法 (つづき)

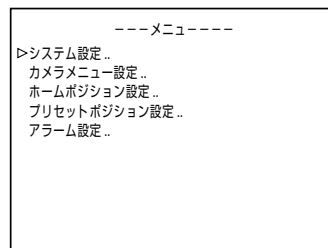
カメラタイトル、ホームポジションタイトルの設定 (カメラ側のメニュー)

各カメラと、ホームポジションにタイトルを付けます。これらをあらかじめ設定することにより、ホームポジションの設定、プリセットポジションの設定などが、スムーズにおこなえます。



1. 通常メニュー画面を起動させる (30ページ)

- 通常メニュー画面が表示されます。

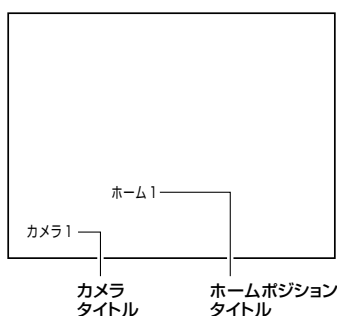


[通常メニュー画面]

メモ

- 接続カメラの種類によって、メニューが異なります。詳しくは、カメラの『取扱説明書』をご覧ください。
- また、システム設定の「カメラタイプ/標準状態設定」項目(34ページ)で、カメラタイプが「非通信制御カメラ」「非通信カメラ(オートパン)」および「リレーボックス」「リレーボックス(オートパン)」に設定されているカメラは選択できません。

(例) カメラタイトル→「カメラ 1」
ホームポジションタイトル→「ホーム 1」
と設定した場合の画面上の表示

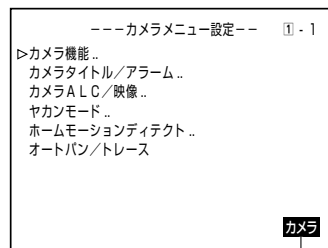


[通常画面]

2. カメラメニュー設定を選択し、[セット]を押す

(例) TK-S576B の場合

- カメラ側のメニューが呼び出され、表示されます。(カメラ側のメニューは黄色文字で表示されます。)
- 画面右下に **カメラ** が点滅表示されます。



カメラ
点滅表示

3. カメラタイトル、ホームポジションタイトルを設定する

- タイトルは画面左下に表示されます。

4. 次のカメラを設定する場合

- [送る] ボタンを押します
- 次のカメラの映像に切り換わります。

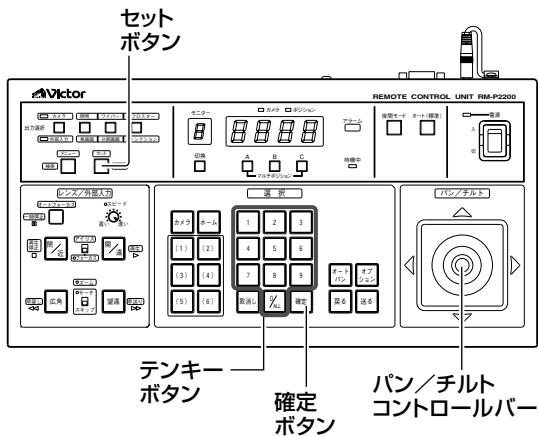


ホームポジション設定

全ての接続カメラのホームポジションの画角(モニターに表示される映像)を設定します。

ホームポジションとは

オートシーケンスのときに選択されるカメラ映像です。一般的にはズーム位置を広角側に設定し、全体がみわたせる位置を設定します。



メモ

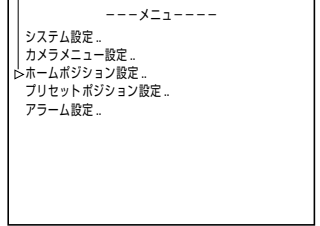
• 設定は「ユニット」と「端子番号」でおこないます。「ユニット」はSW-2200が複数台接続された場合、何番目に接続されたSW-2200かを表し、「端子番号」はSW-2200背面部、CAMERA INPUT 端子の番号に対応しています。

1. メニュー画面を起動させる

(☞30ページ)

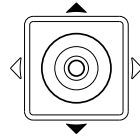
- モニターに通常メニュー画面が表示されます。

カーソル



[通常メニュー画面]

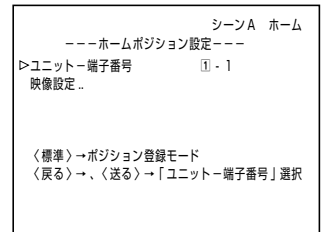
2. ホームポジション設定項目を選択する



- カーソル(▷)を[パン/チルト]コントロールレバー(◀▶)で上下に移動させ、ホームポジション設定項目を選択します。

3. [セット]を押す

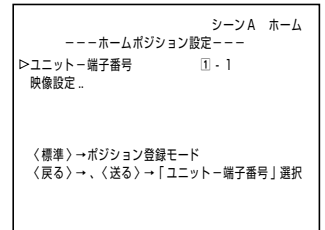
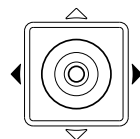
- ホームポジション設定画面が表示されます。



[ホームポジション設定画面]

4. 「ユニット-端子番号」を選択する

- [パン/チルト]コントロールレバー(◀▶)を、左右に動かし、設定したいカメラを選びます。
- カメラが切り換わり、映像も選択されているカメラの映像に切り換わります。

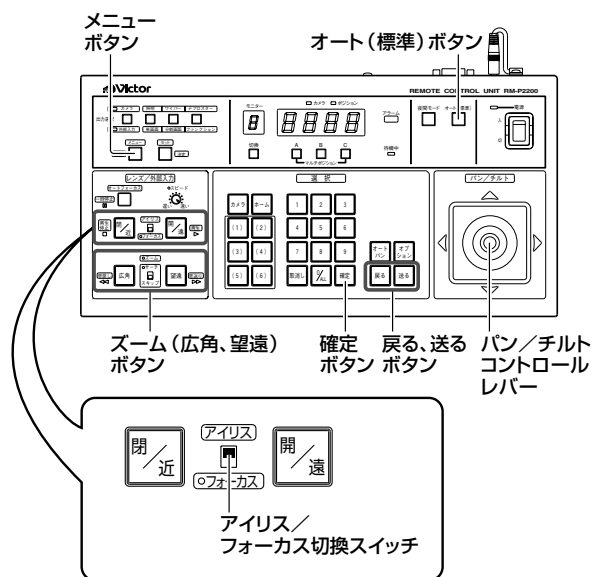


[ホームポジション設定画面]

- [テンキー] ボタンでも、上記と同様に「ユニット-端子番号」を選択することができます。「ユニット-端子番号」[1]-1 を選択したい場合、[テンキー] ボタンで [1] [0] [1] と入力して、[確定] ボタンを押します。

設定方法 (つづき)

ホームポジション設定 (つづき)



メモ

- アイリス [閉] [開] /フォーカス(近)(遠) ボタンを使用する場合、[アイリス/フォーカス]切換スイッチを、画角設定したい方にあわせてから設定してください。

メモ

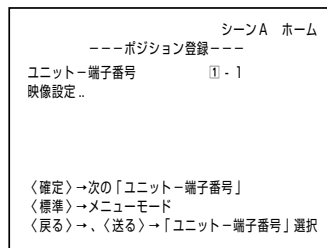
- [パン/チルト] 操作をしながら [確定] ボタンを押すと、「範囲外のポジション(チルト)」と表示されることがあります。この表示があった場合、ホームポジションが登録されないので、[パン/チルト] 操作を停止してから再度 [確定] ボタンを押し、ポジション登録してください。

メモ

- [メニュー] ボタンを押すと、上位メニュー画面に戻ります。

5. [オート(標準)]を押す

- ポジション登録画面が表示され、ポジション登録モードになります。
- [オート(標準)] ボタンが点灯します。



[ポジション登録モード画面]

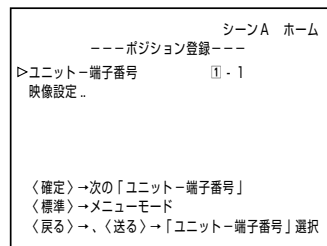
6. 画角を設定する

- [パン/チルト]コントロールレバー、[ズーム(広角)(望遠)]ボタン、[オートフォーカス]ボタン、[アイリス(閉)(開)/フォーカス(近)(遠)]ボタンでプリセットポジションの画角を設定します。
- ピントは[オートフォーカス]ボタンであわせて調整してください。

- [パン/チルト]: カメラの位置
- [オートフォーカス]: ピントの自動調節
- [アイリス(閉)(開)/フォーカス(近)(遠)]: 映像のピント、明るさ
- [ズーム(広角)(望遠)]: 画像サイズ

7. [確定]を押し、ホームポジションを登録する

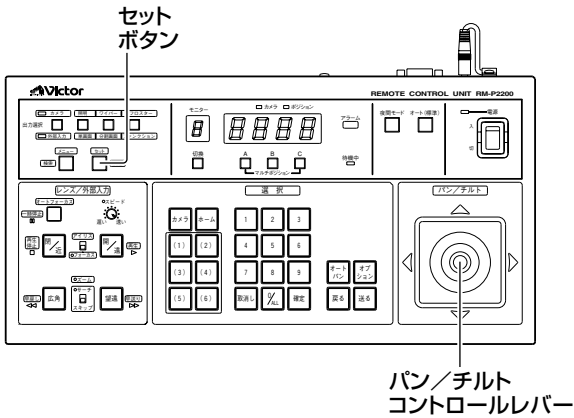
- 画面に「ホームポジションを設定しました」と表示され、ホームポジションが登録されます。
- 「ユニット-端子番号」が次のカメラのホームポジションに切り換わります。



[ポジション登録モード画面]

- [戻る]、[送る] ボタンでも上記と同様にポジションを設定することができます。
- [標準] ボタンを押した場合もポジションが登録されますが、この場合は、ポジションが登録されたあと、3.のホームポジション設定画面に戻ります。

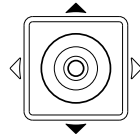
8. 手順 6. 7. を繰り返し、全てのホームポジションを登録する



■ 映像設定をおこなう

1. ホームポジション設定画面で映像設定項目を選択する

- カーソル(▷)を[パン/チルト]コントロールレバー(◆)で上下に移動させ、映像設定項目を選択します。



カーソル

```

シーンA ホーム
---ポジション登録---
ユニット-端子番号 ①-1
▷映像設定.

<確定>->次の「ユニット-端子番号」
<標準>->メニューモード
<戻る>->、<送る>->「ユニット-端子番号」選択
  
```

[ホームポジション設定画面]

メモ

- 接続カメラの種類によって、メニューが異なります。詳しくは、カメラの『取扱説明書』をご覧ください。

2. [セット]ボタンを押す

- カメラ側のメニューが呼び出され、ポジション映像設定画面が表示されます。(カメラ側のメニューは黄色文字で表示されます)
- 画面左下に **カメラ** が点滅表示されます。



```

---ポジション映像設定--- ①-1
▷映像設定. シーンA

カメラ
点滅表示
  
```

[ホームポジション設定画面]

3. 設定をおこなう

- 必要に応じて細かい映像設定をおこないます。

設定方法 (つづき)

プリセットポジション設定

■接続カメラのプリセットポジションをカテゴリごとに全て設定します。

プリセットポジションとは

カメラごとに最大255ポジション(TK-S576Bの場合)のプリセットポジションを設定することができます。(TK-S655の場合は63ポジション)

一般的にホームポジションに対し、プリセットポジションには、ズーム位置を望遠側に設定し、詳細な映像を監視する位置に設定します。

カテゴリとは

プリセットポジションはカテゴリごとに設定します。

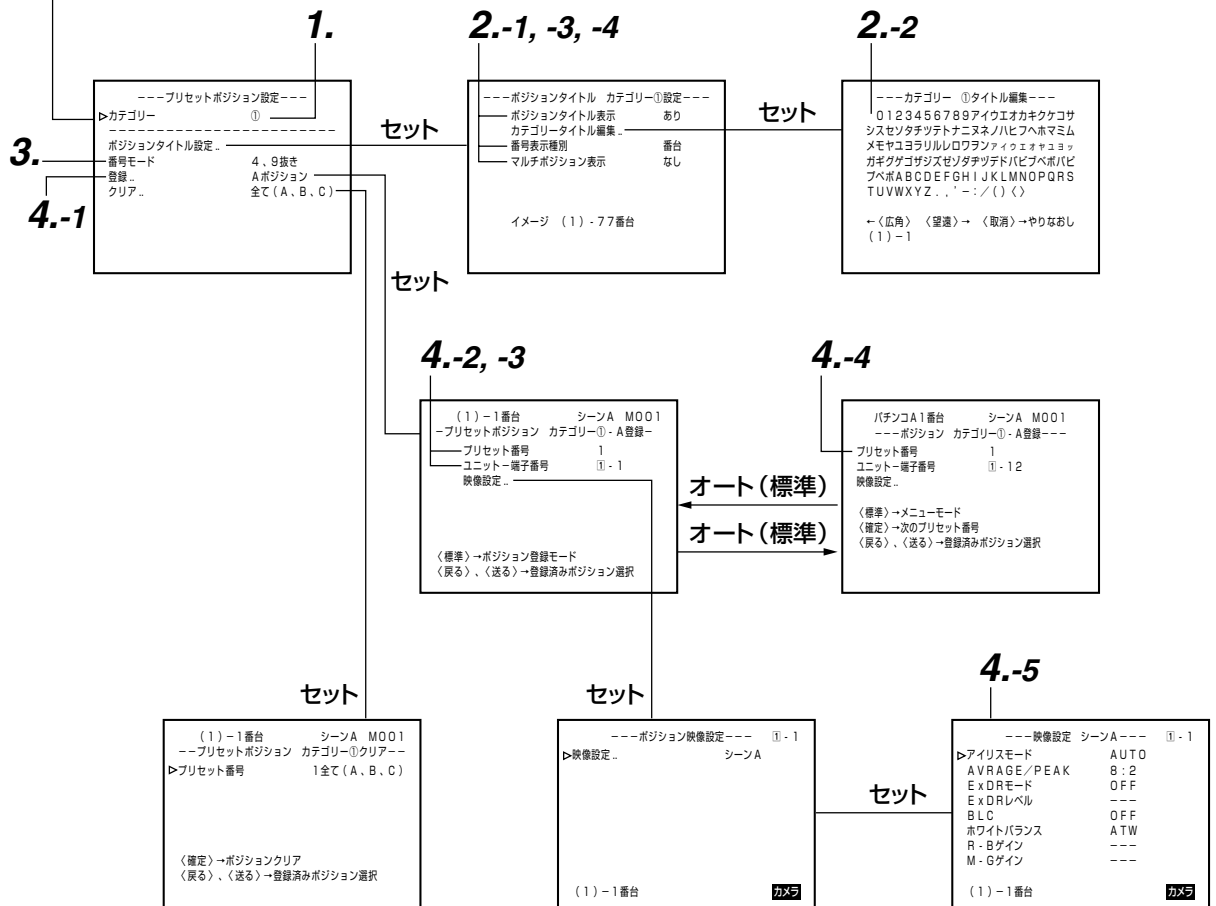
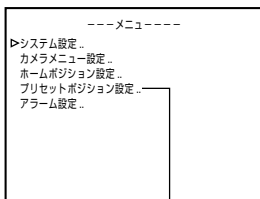
カテゴリは①～⑥まで6つに分類され、それぞれ最大登録ポジション数が異なります。(カテゴリ①は最大4000ポジション、カテゴリ②は最大1000ポジション、カテゴリ③～⑥は最大100ポジションです)

カテゴリの①は最も多くのポジション設定が必要なものに割り当てます。また、カテゴリ⑥は、プリセットシーケンス機能(☞17ページ)に対応していますので、ポジションを自動で切り換えて、監視するものに割り当てます。

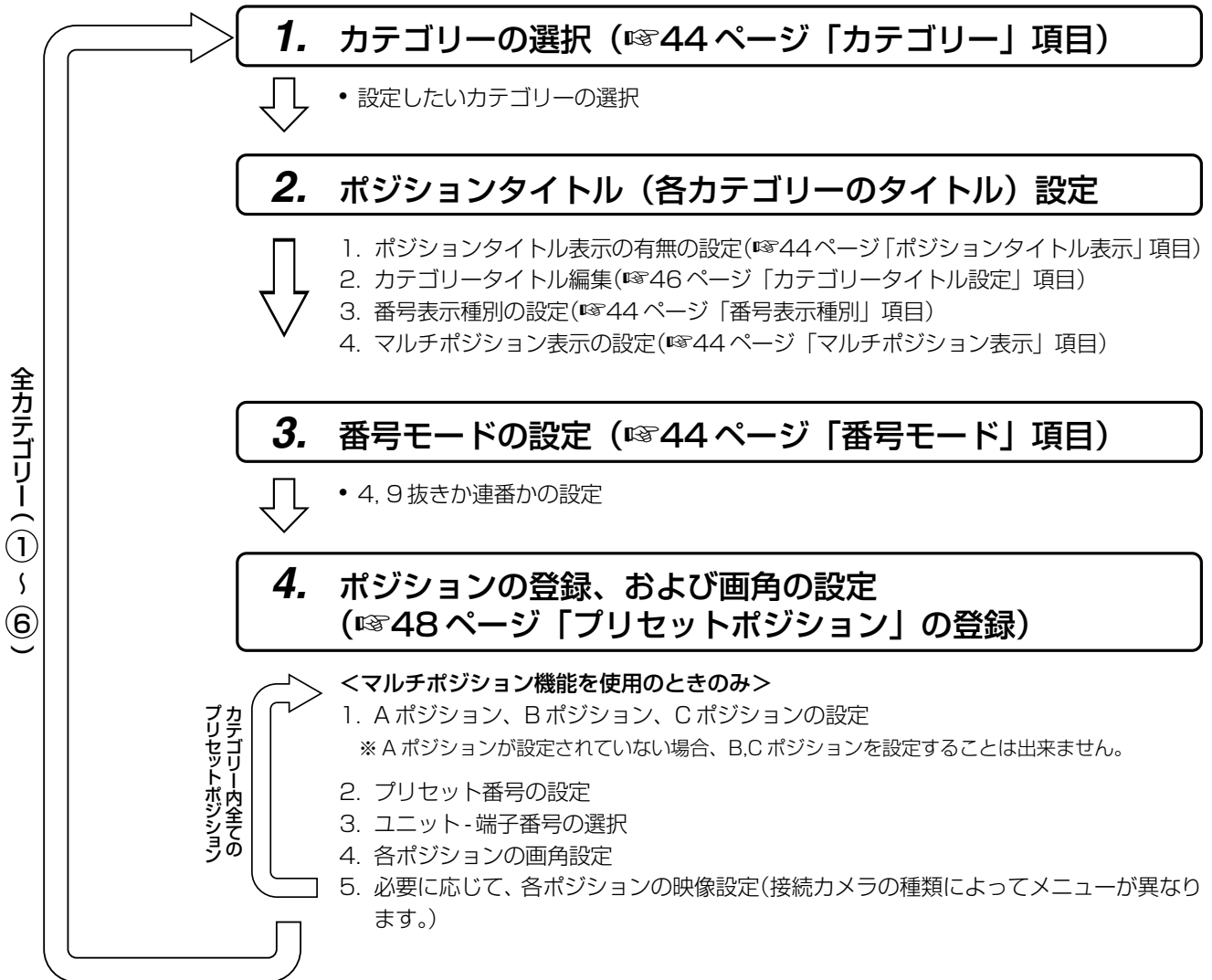
操作部のカテゴリ番号(1)～(6)は付属のラベルにはりかえる事ができます。ラベルは「遊技台、パチンコ、スロット、券売機、両替機、計算機、景品所、換金所、出入口、駐車場、」の10種類と白紙のラベルが添付してありますので、監視場所にあわせてご利用ください。(☞53ページ)

■メニュー画面の流れ

[通常メニュー画面]



■設定手順（カテゴリーごとに、全てのカテゴリーのポジションを設定してください。）



※ 1つのカテゴリー内のプリセットポジション登録が終わったら **1.**に戻り、次のカテゴリーのプリセットポジション登録をおこないます。

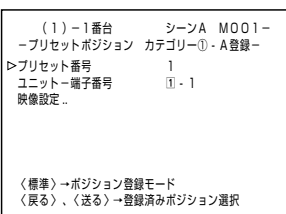
メモ

- カメラを追加したり入れ換えた場合、必ず一度ポジションタイトル設定画面を表示させてください(☞46 ページ)。カテゴリータイトルが正しく表示されない場合があります。
- プリセットシーケンスは、カテゴリー⑥にのみ設定できます。プリセットシーケンスを設定したいプリセットポジションは、カテゴリー⑥に設定してください。
- プリセットシーケンスの開始番号を設定することができます。(☞36 ページ「モニター 1 の出力設定」)
プリセットシーケンスを設定したいプリセットポジションは、カテゴリー⑥の後ろの番号にまとめて登録してください。
- プリセットポジションで、画角の設定ができるのは通信制御カメラのみです。
非通信制御カメラはポジション登録はできますが、画角の設定はできません。リレーボックスは、プリセットポジション登録できません。

設定方法 (つづき)

プリセットポジション設定 (つづき)

●は工場出荷時の値です。

項目	設定値	内容
カテゴリ	●① ② ③ ④ ⑤ ⑥	登録(修正、削除)をするカテゴリの設定をおこないます。 <ul style="list-style-type: none"> 登録できるポジション数はカテゴリにより異なります。 カテゴリ①最大 4000 ポジション カテゴリ②最大 1000 ポジション カテゴリ③～⑥最大 100 ポジション (番号モード項目を“4, 9 抜き”に設定した場合、登録できる最大ポジション数は少なくなります。) カテゴリ⑥はプリセットシーケンスに対応しています。 (☞17 ページ「プリセットシーケンス」)
ポジションタイトル設定		カテゴリごとにタイトルの設定をします。 カテゴリタイトルは「パチンコ」「スロット」など、グループを表わす名称にすると便利です。
ポジションタイトル表示	●あり なし	カテゴリごとのポジションタイトルを表示するかどうかの設定をおこないます。
カテゴリタイトル編集		カテゴリごとに、表示するタイトルを編集します。 タイトル文字数は最大 8 文字です。 (☞46 ページ「カテゴリタイトルの設定」)
番号表示種別	●番台 PO- NO. 番号のみ	表示するプリセットポジション番号に付ける文字の設定をおこないます。 メモ <ul style="list-style-type: none"> 番台は後ろ、PO -, NO. は前に付きます。 (例) 77 番台 PO - 77, NO.77
マルチポジション表示	●なし あり(前) あり(後)	ポジションタイトルにマルチポジション表記(AorBorC)をするかどうかの設定をおこないます。 メモ <ul style="list-style-type: none"> なし : (例) 77 番台 あり(前) : (例) A77 番台 あり(後) : (例) 77 番台 A
番号モード	●4,9 抜き 連続番号	プリセットポジション番号に4, または9を含まない4,9抜きにするか、連番にするかの設定をおこないます。 4,9抜きに設定すると、4と9を含む数字のポジション番号を設定することはできません。 メモ <ul style="list-style-type: none"> マルチポジションのBポジションとCポジションは、Aポジションで設定された番号モードになり、設定値は、「- - -」と表示され、設定できません。
登録	●A ポジション B ポジション C ポジション	登録するマルチポジションを設定します。マルチポジション機能を使わない場合は、全て A ポジションに設定します。 BとCポジションは、Aに同じポジション番号が設定されている場合のみ登録することができます。 登録方法は、☞48 ページ「プリセットポジションの登録」 (☞20 ページ「マルチポジションの選択」) ■プリセットポジション登録画面  <p>(1) - 1 番台 シーンA M001 - -プリセットポジション カテゴリ①・A登録- ▶プリセット番号 1 ユニット-端子番号 ①・1 映像設定..</p> <p><標準>→ポジション登録モード <戻る>、<送る>→登録済みポジション選択</p>

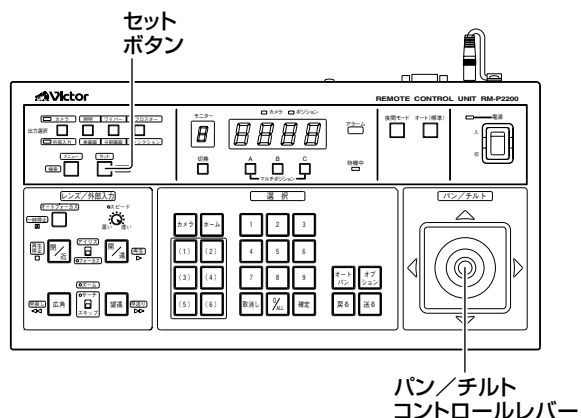
●は工場出荷時の値です。

項目	設定値	内容
登録(つづき)		登録するプリセットポジション番号の選択をします。
プリセット番号	<ul style="list-style-type: none"> • カテゴリー① 1～4000 • カテゴリー② 1～1000 • カテゴリー③ 1～100 • カテゴリー④ 1～100 • カテゴリー⑤ 1～100 • カテゴリー⑥ 1～100 	<p>ポジション登録するプリセットポジション番号を選択します。 設定できるポジション数はカテゴリーにより異なります。また、B,Cで登録できるプリセット番号は、Aポジションで登録されたプリセット番号のみです。</p>
ユニット-端子番号	<p>● ① - 1 ～ ⑤ - 16 (SW-2200 を 5 台接続した場合)</p>	<p>ポジション登録するカメラを「ユニット-端子番号」番号で選択します。</p> <p>■プリセットポジション登録画面</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>(1) - 1 番台 シーンA M001 - --プリセットポジション カテゴリ①- A登録-- プリセット番号 1 ▶ユニット-端子番号 ① - 1 映像設定..</p> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;"> <標準> → ポジション登録モード <戻る>、<送る> → 登録済みポジション選択 </p> </div> <p>「ユニット」は SW-2200 が複数台接続された場合、何番目に接続された SW-2200 かを表し、「端子番号」は SW-2200 背面部、CAMERA INPUT 端子の番号に対応しています。</p>
映像設定		<p>接続カメラのカメラ側メニューを表示します。 メニュー画面は、カメラによって異なります。 詳細は接続カメラの『取扱説明書』をご覧ください。</p>
クリア	<p>● 全て(A,B,C) B ポジションのみ C ポジションのみ</p>	<p>登録されたプリセットポジションのデータを、プリセット番号単位で消去します。 クリアされたポジションは、ポジション選択することができません。 クリア動作は A,B,C 全て、B ポジションのみ、C ポジションのみ、の単位でおこなうことができます。</p> <p>■プリセットポジションクリア画面</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>(1) - 1 番台 シーンA M001 --プリセットポジション カテゴリ①クリア-- ▶プリセット番号 1 全て (A , B , C)</p> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;"> <確定> → ポジションクリア <戻る>、<送る> → 登録済みポジション選択 </p> </div>

設定方法 (つづき)

プリセットポジション設定 (つづき)

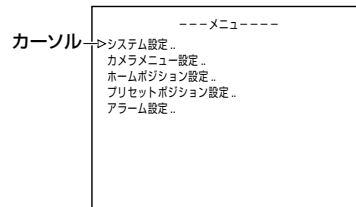
カテゴリータイトルの設定 (カテゴリー①～⑥にそれぞれタイトルをつけます)



■ カテゴリーを選択し、タイトル編集画面を表示させる

1. メニュー画面を起動させる (約30ページ)

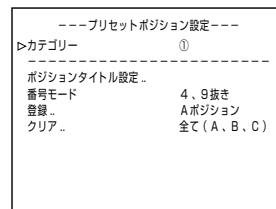
- モニターに通常メニュー画面が表示されます。



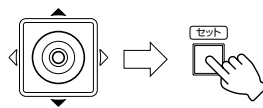
[通常メニュー画面]

2. プリセットポジション設定項目を選択し、[セット]を押す

- カーソル(▷)を[パン/チルト]コントロールレバー(◀▶)で上下に移動させ、プリセットポジション設定項目を選択し、[セット]ボタンを押します。
- プリセットポジション設定画面が表示されます。



[プリセットポジション設定画面]



メモ

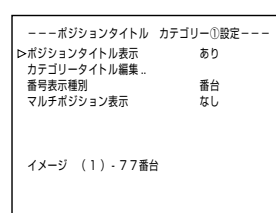
- ポジションタイトル設定画面で、ポジションタイトル表示項目を“あり”に設定しないと、カテゴリータイトルは表示されません。

メモ

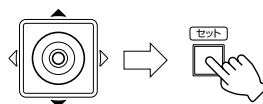
- カメラを追加したり、入れ換えた場合、必ず一度ポジションタイトル設定画面(手順 3.)を表示させてください。カテゴリータイトルが正しく表示されない場合があります。

3. ポジションタイトル設定項目を選択し、[セット]を押す

- カーソル(▷)を[パン/チルト]コントロールレバー(◀▶)で上下に移動させ、ポジションタイトル設定項目を選択し、[セット]ボタンを押します。
- ポジションタイトル設定画面が表示されます。

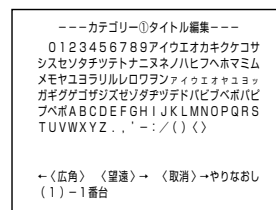


[ポジションタイトル設定画面]

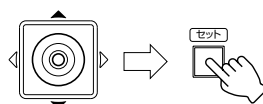


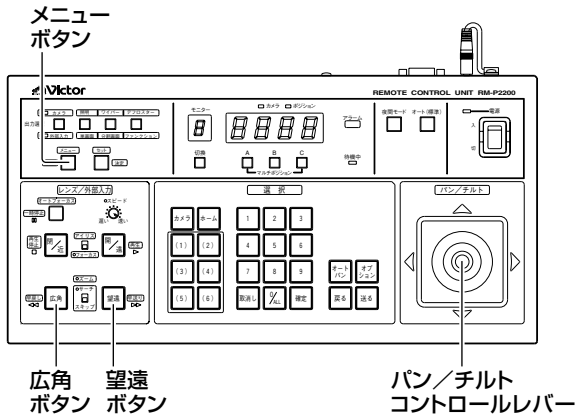
4. カテゴリータイトル編集項目を選択し、[セット]を押す

- カーソル(▷)を[パン/チルト]コントロールレバー(◀▶)で上下に移動させ、カテゴリータイトル編集項目を選択し、[セット]ボタンを押します。
- カテゴリータイトル編集画面が表示されます。



[カテゴリータイトル編集画面]

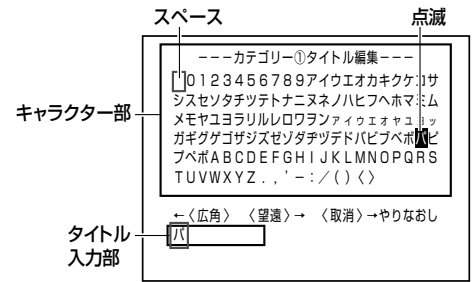
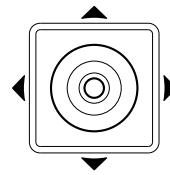




■ タイトルの編集をおこなう

5. 文字を選択する

- [パン/チルト] コントロールレバー(◀▶)で選択します。
- キャラクター部で選択した文字は点滅し、タイトル入力部に表示されます。



[カテゴリタイトル編集画面]

メモ

入力した文字を変更する場合

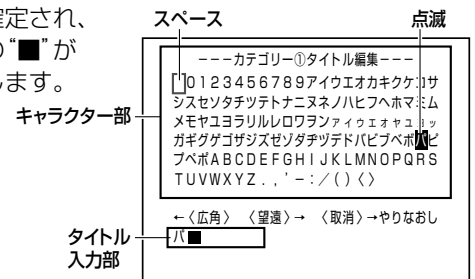
- 文字全てを入力前の状態に戻す場合
- [取消] ボタンを押します。

1文字だけ変更する場合

- タイトル入力部の文字位置を [広角] [望遠] で動かし、変更したい文字の上に入力します。
- 文字をクリア(消去)したい場合は画面左上のスペースを選択します。

6. [望遠] を押し、タイトル入力部の文字位置を次に移動する

- 選択した文字が確定され、タイトル入力部の「■」が次のマスに移動します。



[カテゴリタイトル編集画面]

メモ

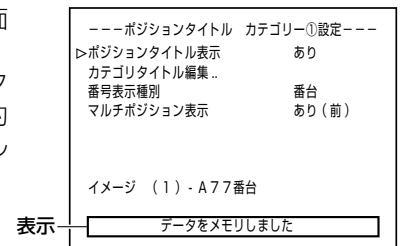
- カテゴリタイトル編集をした場合、それにあわせて「カテゴリボタン表示のほりかえ」(P53 ページ)をおこなってください。

7. 上記手順の5. 6.を繰り返す

- タイトルは8文字まで入力できます。

8. [メニュー] を押す

- ポジションタイトル画面に戻ります。
- 画面下の部分に「データをメモリしました」と約3秒間表示されタイトルがメモリされます。

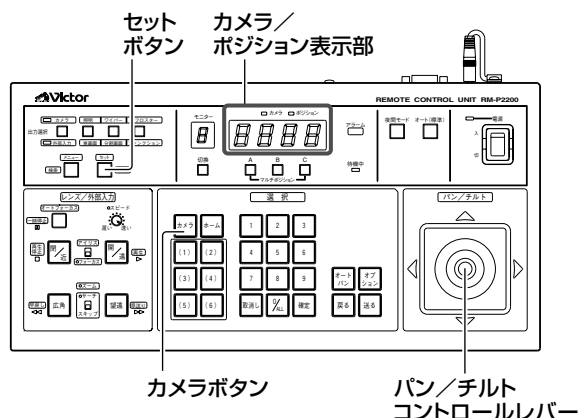


[ポジションタイトル画面]

設定方法 (つづき)

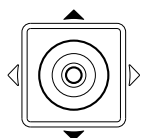
プリセットポジション設定 (つづき)

プリセットポジションの登録



1. プリセットポジション設定画面の、登録項目を選択する

- カーソル(▷)を[パン/チルト]コントロールレバー(◀▶)で、上下に移動させ、で登録を選択します。



カーソル	
---プリセットポジション設定---	
カテゴリ	①
ポジションタイトル設定..	
番号モード	4、9抜き
▷登録..	Aポジション
クリア..	全て(A、B、C)

【プリセットポジション設定画面】

メモ

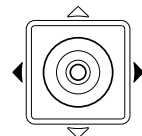
マルチポジションとは

- 1つのポジションに対して、1台のカメラのみで撮影すると、死角ができてしまう場合があります。マルチポジションを設定することにより、最大3台のカメラで1つのポジションを別々の角度から撮影し、死角をなくすることができます。

☞20ページ「マルチポジションの選択」

2. マルチポジションを設定する

- [パン/チルト]コントロールレバー(◀▶)を左右に動かし、Aポジション、Bポジション、Cポジションの設定をします。



カーソル	
---プリセットポジション設定---	
カテゴリ	①
ポジションタイトル設定..	
番号モード	4、9抜き
▷登録..	Aポジション
クリア..	全て(A、B、C)

【プリセットポジション設定画面】

3. [セット]を押す

- プリセットポジション登録画面が表示されます。



(1)-1番台	シーンA M001-
プリセットポジション	カテゴリ①・A登録-
▷プリセット番号	1
ユニット-端子番号	①・1
映像設定..	
<標準>→ポジション登録モード <戻る>、<送る>→登録済みポジション選択	

【プリセットポジション登録画面】

メモ

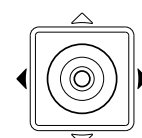
- 設定は「ユニット」と「端子番号」でおこないます。「ユニット」はSW-2200が複数台接続された場合、何番目に接続されたSW-2200かを表し、「端子番号」はSW-2200背面部「CAMERA INPUT」端子の番号に対応しています。

メモ

- システム設定「カメラタイプ/標準状態設定」項目(☞34ページ)が、「リレーボックス」、「リレーボックス(オートパン)」に設定されているカメラは選択できません。

4. [ユニット-端子番号]を選択する

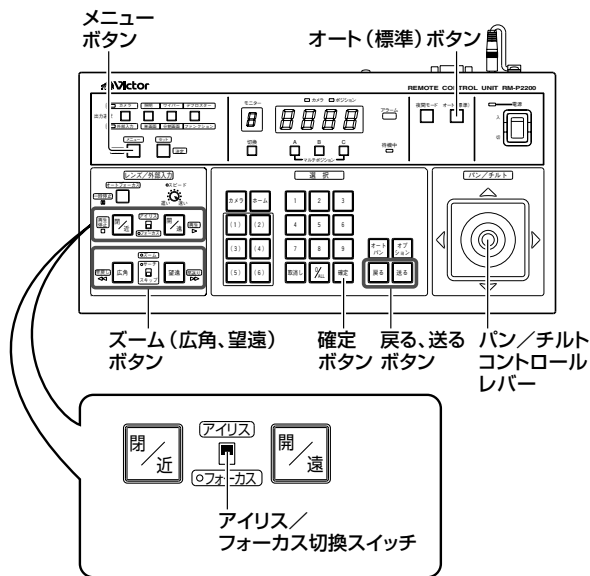
- [パン/チルト]コントロールレバー(◀▶)を左右に動かし、設定したいカメラを選びます。
- カメラが切り換わり、映像も選択されているカメラの映像に切り換わります。
- [カメラ]ボタンが点灯し[カメラ/ポジション表示部]のカメラ表示灯が点灯します。



(1)-1番台	シーンA M001-
-プリセットポジション	カテゴリ①・A登録-
プリセット番号	1
▷ユニット-端子番号	①・1
映像設定..	
<標準>→ポジション登録モード <戻る>、<送る>→登録済みポジション選択	

【プリセットポジション登録画面】

- [テンキー]ボタンでも、上記と同様に「ユニット-端子番号」を選択することができます。「ユニット-端子番号」[1]-1を選択したい場合、[テンキー]ボタンで[1][0][1]と入力して、[確定]ボタンを押します。



5. [オート(標準)]を押す

- ポジション登録画面が表示され、ポジション登録モードになります。
- [オート(標準)] ボタンが点灯します。



(1)-1番台	シーンA M001
---ポジション	カテゴリ①-A登録---
プリセット番号	1
ユニット-端子番号	①-1
映像設定..	

<標準>→メニューモード
 <確定>→次のプリセット番号
 <戻る>、<送る>→登録済みポジション選択

[ポジション登録モード画面]

6. 画角を設定する

- [パン/チルト]コントロールレバー、[ズーム(広角)(望遠)]ボタン、[オートフォーカス]ボタン、[アイリス(閉)(開)/フォーカス(近)(遠)]ボタンでプリセットポジションの画角を設定します。
- ピントは[オートフォーカス]ボタンであわせませす。あわない場合にフォーカスボタンで調整してください。

- [パン/チルト]: カメラの位置
- [オートフォーカス]: ピントの自動調節
- [アイリス(閉)(開)/フォーカス(近)(遠)]: 映像のピント、明るさ
- [ズーム(広角)(望遠)]: 画像サイズ

メモ

- [アイリス(開)(閉)/フォーカス(近)(遠)]ボタンを使用する場合、[アイリス/フォーカス]切替スイッチを画角設定したい方にあわせてから設定してください。

メモ

- カテゴリー①は最大4000ポジション、カテゴリー②は最大1000ポジション、カテゴリー③~⑤は最大100ポジションのプリセットポジションを登録することができます。
- カテゴリー⑥はプリセットシーケンス機能(※17ページ)に対応しています。ポジションを自動で切り換えて監視したいものに、割り当ててください。

メモ

- 1台のカメラにつき設定できるプリセットポジションのポジション数は異なります。それ以上のポジションを登録しようとすると「全てのメモリーが登録済みです。他のカメラを選んでください。」と表示され**3.**のプリセットポジション登録画面に戻ります。
- [メニュー] ボタンを押すと、上位メニュー画面に戻ります。
- マルチポジションのBポジションが登録したい場合、Aポジションを全て登録し終わってから手順**2.**に戻り、登録項目をBポジションに変更してから同様にプリセットポジション登録をおこないます。(Cポジションも同様)
- [パン/チルト] 操作をしながら [確定] ボタンを押すと、「範囲外のポジション(チルト)」を表示されることがあります。この表示があった場合、プリセットポジションが登録されないので、[パン/チルト] 操作を停止してから再度 [確定] ボタンを押し、ポジション登録してください。

7. [確定]を押し、プリセットポジションを登録する

- 画面に「データをメモリしました」と表示され、プリセットポジションが登録されます。
- 「プリセット番号」が次の番号に切り換わります。



(1)-1番台	シーンA M001
---ポジション	カテゴリ①-A登録---
プリセット番号	1
ユニット-端子番号	①-1
映像設定..	

<標準>→メニューモード
 <確定>→次のプリセット番号
 <戻る>、<送る>→登録済みポジション選択
 データをメモリしました

表示

[ポジション登録モード画面]

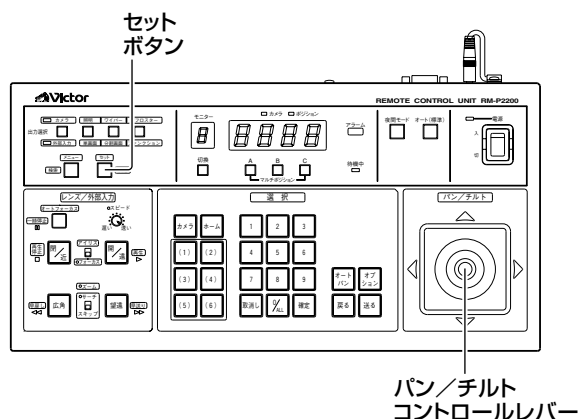
- [戻る]、[送る] ボタンでも上記と同様にプリセットポジションを設定することができます。
- [標準] ボタンを押した場合もポジションが登録されますが、この場合は、ポジションが登録されたあと、**3.**のプリセットポジション登録画面に戻ります。

8. 手順 6. 7. を繰り返し、必要なプリセットポジションを登録する

設定方法 (つづき)

プリセットポジション設定 (つづき)

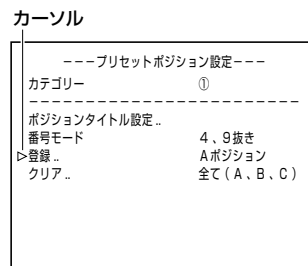
プリセットポジションの登録(つづき)



■ 映像設定をおこなう

1. プリセットポジション設定画面で登録項目を選択し、[セット]を押す

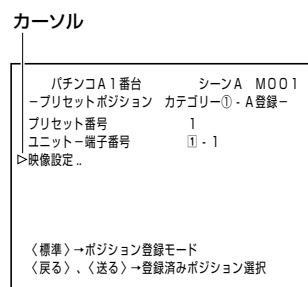
- カーソル(▷)を[パン/チルト]コントロールレバー(◀▶)で上下に移動させ、登録項目を選択し、[セット]ボタンを押します。
- プリセットポジション登録画面が表示されます。



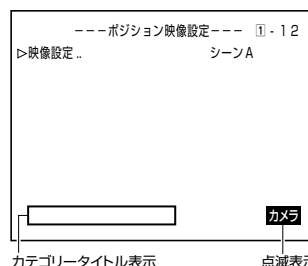
[プリセットポジション設定画面]

2. 映像設定項目を選択し、[セット]を押す

- カーソル(▷)を[パン/チルト]コントロールレバー(◀▶)で上下に移動させ、映像設定項目を選択し、[セット]ボタンを押します。
- カメラ側のメニューが呼び出され、ポジション映像設定画面が表示されます。(カメラ側のメニューは黄色文字で表示されます)
- 画面左下に **カメラ** が点滅表示されます。



[プリセットポジション登録画面]

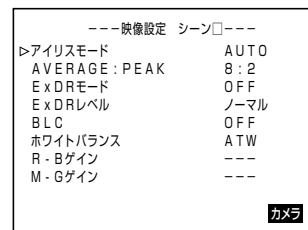


[プリセットポジション映像設定画面]

3. 設定をおこなう

- 必要に応じて細かい映像設定をおこないます。

(例) TK-S576B の場合



[映像設定画面]

メモ

- 接続カメラの種類によって、メニューが異なります。詳しくは、カメラの『取扱説明書』をご覧ください。また、カメラメニューのないカメラを使用している場合、画面に「当該カメラはメニューをサポートしていません」と表示されます。

アラーム設定

●は工場出荷時の値です。

項目	設定値	内容
優先モード	●マニュアル アラーム	モニター1に出力しているカメラをマニュアル操作している時に、アラームが入った場合の動作を設定します。 マニュアル：マニュアル操作中は、アラームが入ってもアラーム動作しません。(マニュアル優先) アラーム：マニュアル操作中である、なしに関わらずアラームが入るとアラーム動作になります。(アラーム優先)
アラーム戻り時間	5～10秒(1秒ごと) ●15秒 20秒 25秒 30秒 戻らない	アラーム動作の時間を設定します。戻らないに設定すると、アラームを手動解除するまでアラームは解除されません。 (☞23ページ「アラーム動作・解除について」)

アラームメニューの設定

■アラームのメニューです。

メニューの基本操作で、「メニュー画面の起動 (☞30ページ)」をおこなう時、パスワード「3333」で立ち上げます。

■アラームに関する設定をおこないます。

項目	設定値	内容
非アラーム制御カメラ設定	●なし ① - 1 ~ ⑤ - 16	重要な監視場所など、アラーム入力に影響されたくないカメラを設定します。設定はカメラ8台までおこなえます。 ■非アラーム設定画面 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ---非アラーム制御カメラ設定--- >ユニット-端子番号設定1 ① - 2 ユニット-端子番号設定2 ① - 3 ユニット-端子番号設定3 なし ユニット-端子番号設定4 なし ユニット-端子番号設定5 なし ユニット-端子番号設定6 なし ユニット-端子番号設定7 なし ユニット-端子番号設定8 なし </div>
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 設定は「ユニット」と「端子番号」でおこないます。「ユニット」はSW-2200が複数台接続された場合、何番目に接続されたSW-2200かを表し、「端子番号」はSW-2200背面部、CAMERA INPUT端子の番号に対応しています。 </div>		
特定アラーム制御種別設定		“特賞”“呼出”などのアラーム入力が頻繁に入る場合、アラーム動作しないように設定することができます。
特賞	●あり なし	あり：特賞、特賞発生、特賞終了、連続特賞、連続特賞終了、スタート、大当りのアラームが入ったときには、アラーム動作しないように設定できます。 なし：上記のアラームが入った場合も、アラーム動作します。
呼出	●あり なし	あり：“呼出”アラームが入ったときには、アラーム動作しないように設定できます。 なし：“呼出”アラームが入ってもアラーム動作します。

設定方法 (つづき)

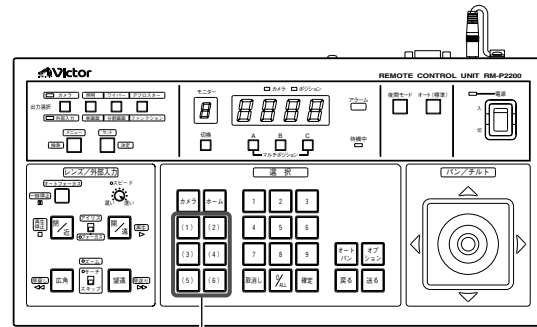
設定時のメッセージ表示について

操作内容によって次のようなメッセージが表示されます。

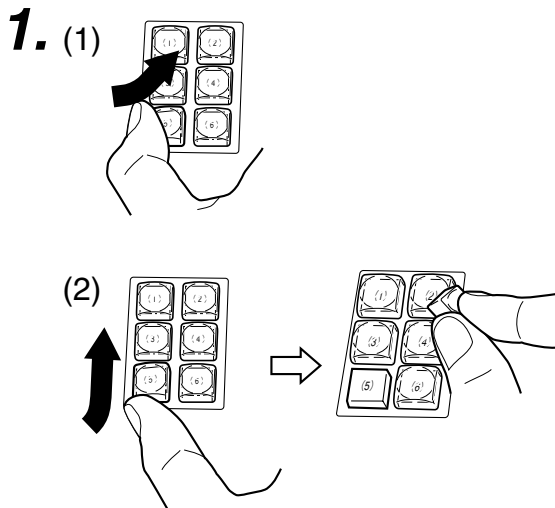
設定時のメッセージ表示	内 容
パスワードが正しくありません	・パスワードが正しく入力されなかった場合に表示されます。再度パスワードを入力してください。
全ての端子を接続なしに設定できません	・カメラタイプ／標準状態設定にて、SW-2200の全ての接続端子を“接続なし”に設定した場合に表示されます。(この場合、 1 が強制的に“非通信制御カメラ”に設定されます)
全てのカメラを表示なしには設定できません！ <セット>→ モニター*表示カメラ／オートシーケンス設定 (* : 2～5)	・モニター2～5 表示カメラ／オートシーケンス設定にて、全ての表示カメラを“なし”に設定した場合に表示されます。
設定可能なカメラがありません (メニューキーで戻ります)	・カメラメニュー設定およびホームポジション設定画面を起動したとき、通信制御カメラが1台も設定されていない場合に表示されます。 ・プリセットポジション登録にて、マルチポジション登録可能なカメラ(通信制御カメラおよび非通信制御カメラ)が1台のシステムでマルチポジション(A,B,C)を登録しようとした場合に表示されます。
同じカメラをマルチポジションに登録することはできません	・プリセットポジション登録にて、1つのポジションに対して同じカメラでマルチポジション(A,B,C)を登録しようとした場合に表示されます。(表示後、プリセットポジション登録画面に戻ります)
全てのメモリーが登録済です。他のカメラを選んでください。	・通信制御カメラ1台に登録可能台数※以上のプリセットポジションを登録しようとした場合に表示されます。 ※ TK-S576B : 255ポジション TK-S655 : 63ポジション
Aポジションの設定を行ってください	・プリセットポジション登録にて、Aポジション登録をしていないカテゴリに対して、BまたはCポジションの登録をしようとした場合に表示されます。
カメラ(*)の変更によりプリセットは無効です！ クリアもしくは他のカメラで登録してください。 * : 1 - 1 ~ 5 - 16	・カメラ設定の変更等により、既存のプリセット番号が無効になっているとき、プリセットポジション登録画面を起動した場合に表示されます。
当該カメラはメニューをサポートしてません	・プリセットポジション登録の映像設定にて、選択したポジションの登録カメラが、非通信制御カメラである場合に表示されます。
ポジションをクリアしました	・プリセットポジションのクリアを実行した場合に表示されます。
登録されているポジションはありません (メニューキーで戻ります)	・プリセットポジションのクリアを実行した結果、同カテゴリ内に登録されているプリセットポジションがひとつもなくなった場合に表示されます。

カテゴリーボタン表示のはりかえ

カテゴリーボタンは、工場出荷時(1)~(6)の番号が付いていますが、カテゴリータイトルの設定(46ページ)で、カテゴリータイトル編集した場合、それに合わせて、カテゴリーボタンの表示も付属のラベルにはりかえることができます。

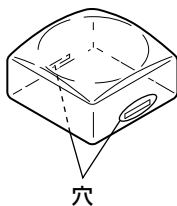


カテゴリーボタン



メモ

付属のラベルには、[遊技台] [パチンコ] [スロット] [券売機] [両替機] [計数機] [景品所] [換金所] [出入口] [駐車場] の10種類と、無地のラベルが、6枚あります。
無地のものは、場所にあわせて記入してご使用ください。



■ はりかえの手順

1. 透明のボタンキャップを外す

- (1) ● カテゴリーボタン[1] [3] [5]の場合
カテゴリーボタンの左端を右方向に押しながら、右上方に押し上げます。
- カテゴリーボタン[2] [4] [6]の場合
カテゴリーボタンの右端を左方向に押しながら、左上方に押し上げます。
- (2) ボタンキャップの下側から押し上げる
● 透明のボタンキャップが外れます。

2. ラベルをはりかえる

- ラベルをはがし、付属のラベルにはりかえます。

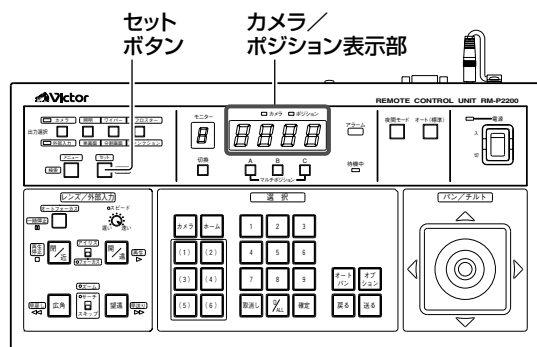
3. ボタンキャップをもとに戻す

- ボタンキャップは“穴”が左右にくるように取り付けてください。

設定方法 (つづき)

キーロック (誤操作防止)

誤操作防止のため、パネル上の全てのボタン、パン／チルトコントロールレバー操作をできなくするキーロック(誤操作防止)状態にすることができます。



■ キーロック (誤操作防止) 状態にする

[セット]を5秒以内に10回押す



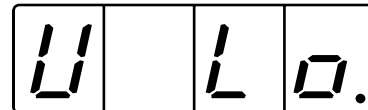
- キーロック(誤操作防止)状態となり、全ての操作は無効となります。

■ 解除する

もう一度[セット]を5秒以内に10回押す

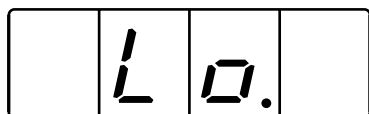


- カメラ/ポジション表示部に [U Lo.] と表示され、キーロック状態が解除されます。



メモ

キーロック状態のとき、何かのボタンを押したり、操作しようとするときカメラ/ポジション表示部に [Lo.] と表示され、操作できません。

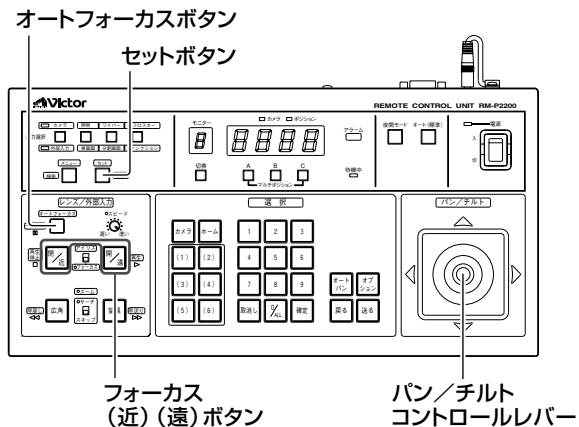


メモ

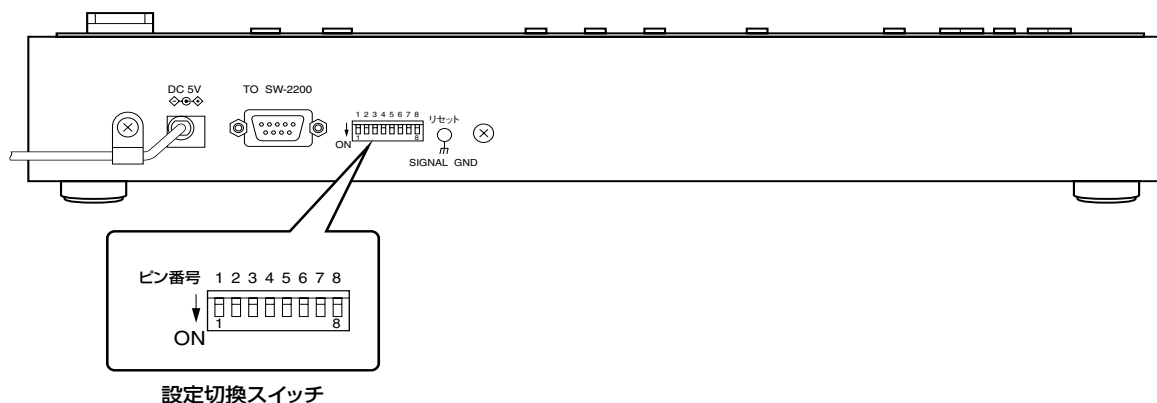
出力選択が外部入力になっている時は、キーロック状態に設定できません。

設定切換スイッチ

機能の設定(初期設定)を一部切り換える事ができます。
工場出荷時は全てのスイッチはOFFに設定されています。



■ リアパネル



※設定切換スイッチの設定は必ず電源が“OFF”の状態でおこなってください。

ピン番号	機能	OFF (上)	ON (下)
1	未設定		
2	オートフォーカス機能をするボタンを設定します。	オートフォーカスボタン	オートフォーカスボタン フォーカスボタン(近) (遠)ボタン同時押し
3	設定切換スイッチ 3、4 で、パン/チルトコントロールレバーの動作スピード段階を切り換えます	3 : OFF 4 : OFF 8段階	
4		3 : OFF 4 : ON 5段階	
		3 : ON 4 : OFF 4段階(全体的に早めの設定です)	
		3 : ON 4 : ON 4段階(全体的に遅めの設定です)	
5	サービス用です。さわらないでください。※		
6	ブザー音量の大、小を切り換えます。	大	小
7	サービス用です。さわらないでください。※		
8	サービス用です。さわらないでください。※		

※1、5、7、8は必ず設定を“OFF”にして使用してください。

その他

故障かな？と思ったら

こんなときは	ご確認ください	参照ページ
映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> • コンビネーションカメラに AC24V 電源が接続されていますか？ • カメラと SW-2200 および SW-2200 と CCU(カメラコントロールユニット)は接続されていますか？ • SW-2200 とモニターは正しく接続されていますか？ SW-2200 を複数台使用するシステムの場合、モニターが接続できるのは1台のSW-2200のみです。 	カメラの「取扱説明書」 SW-2200 「取扱説明書」 SW-2200 「取扱説明書」
カメラがイニシャライズ(初期設定動作)しない	<ul style="list-style-type: none"> • 使用可能なカメラヘッドを接続していますか？ 	—
カメラがイニシャライズ後、勝手な方向を向いてしまう	<ul style="list-style-type: none"> • ホームポジションは登録されていますか？ 	39ページ
リモコン操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> • カメラと SW-2200 が正しく接続されていますか？ • カメラ本体の設定は正しくおこなわれていますか？ • カメラタイプ / 標準状態設定は正しくおこなわれていますか？ • 本機と SW-2200 の接続は正しくおこなわれていますか？ SW-2200 を複数台使用するシステムの場合、モニターが接続できるのは1台のSW-2200のみです。 • モニター選択は正しくおこなわれていますか？本機で操作できるのは、モニター表示部に表示されたモニター番号のみです。 • キーロック(誤動作防止)状態になっていませんか？操作時に“Lo.”と表示されたらキーロック(key lock)状態です。解除してください。 	カメラの「取扱説明書」 カメラの「取扱説明書」 34ページ SW-2200 「取扱説明書」 22ページ 54ページ
[カメラ]ボタンでカメラが選択できない	<ul style="list-style-type: none"> • オート(標準)ボタンが押されていませんか？オート(標準)ボタンを押し、消灯してからカメラを選択してください。 • モニター2～5の場合、「表示カメラ/オートシーケンス設定」が“なし”に設定されていませんか？ 	19ページ 37ページ
ポジションが選択できない	<ul style="list-style-type: none"> • オート(標準)ボタンが押されていませんか？オート(標準)ボタンを押し、消灯してからカメラを選択してください。 • ポジション登録はおこなわれていますか？ 	19ページ 42ページ

こんなときは	ご確認ください	参照ページ
パン/チルトした時カメラの動きが遅い	<ul style="list-style-type: none"> パン/チルスピードが“遅い”に設定されていませんか？ 	55ページ
オートシーケンスボタンを押しても、オートシーケンスできない	<ul style="list-style-type: none"> ホームポジションは登録されていますか？ モニター出力は「オートシーケンス設定」が“あり”に設定されていますか？ 「シーケンスタイプ」が“プリセットシーケンス”に設定されていませんか？ モニター2～5出力は「表示カメラ/オートシーケンス設定」が“オートシーケンス”に設定されていますか？ 	39ページ 36ページ 36ページ 37ページ
デジタルビデオレコーダーの操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> デジタルビデオレコーダーのRS-232C端子がSW-2200のAUX INPUT端子に接続されていますか？ システム設定メニューで外部制御設定の接続機種がVR-777に設定されていますか？ “外部入力”が選択されていますか？ 	SW-2200「取扱説明書」 35ページ 26ページ
アラームが入っても映像が切り換わらない (アラーム優先モードの場合)	<ul style="list-style-type: none"> モニター2～5では「アラーム映像出力」が“表示”になっていますか？ アラームメニュー「非アラーム制御カメラ設定」でカメラが選択されていませんか？ プリセットポジションは登録されていますか？ 	37ページ 52ページ 42ページ

上記処置をしても改善されない場合は、お買い上げ販売店または業務機器ビクターサービス窓口にご相談ください。

その他 (つづき)

「ユニット—端子番号」 接続機器

カメラの設置時に各端子の接続機器などをこの表に記載しておくこと、設定がおこないやすくなります。

ユニット	端子	No.	カメラタイプ	備考	
SW-①	1	1	通信制御カメラ	F600-1-1	
	2	2	通信制御カメラ	F600-1-2	
	3	3	通信制御カメラ	F600-1-3	
	4	4	通信制御カメラ	F600-1-4	
	5	5	通信制御カメラ	F600-1-5	
	6	6	通信制御カメラ	F600-1-6	
	7	7	通信制御カメラ	F600-1-7	
	8	8	通信制御カメラ	F600-1-8	
	9	9	リレーボックス	1801-1-1	
	10				
	11				
	12				
	13				
	14	10		通信制御カメラ	1801-1-2
	15	11		通信制御カメラ (S655)	1801-1-3
	16	12		非通信制御カメラ	1801-1-4

ユニット	端子	No.	カメラタイプ	備考
SW-③	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			

ユニット	端子	No.	カメラタイプ	備考
SW-①	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			

ユニット	端子	No.	カメラタイプ	備考
SW-④	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			

ユニット	端子	No.	カメラタイプ	備考
SW-②	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			

ユニット	端子	No.	カメラタイプ	備考
SW-⑤	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			

保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付してあります。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入及び記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

● 保証期間について

保証期間はお買い上げ日より1年間です。
保証書の記載内容によりお買い上げ販売店が修理いたします。
なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。
故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

● アフターサービスについてのお問い合わせ先

ご転居、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明の点は、お買い上げ販売店又は別紙ビクターサービス窓口案内をご覧のうえ、最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

調子が悪いときは、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。簡単な調整で直ることがあります。それでも具合が悪いときは、お買い上げ販売店又はビクターサービス窓口にご相談ください。

- 機種名: RM-P2200
- 故障の状態をできるだけ詳しく:
- ご購入年月日
- ご住所、ご氏名、電話番号

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例にしたがって適正に処理してください。

仕様

通信方式 : RS-422A規格準拠、全二重通信方式によりSW-2200と通信

電源電圧 : DC5V

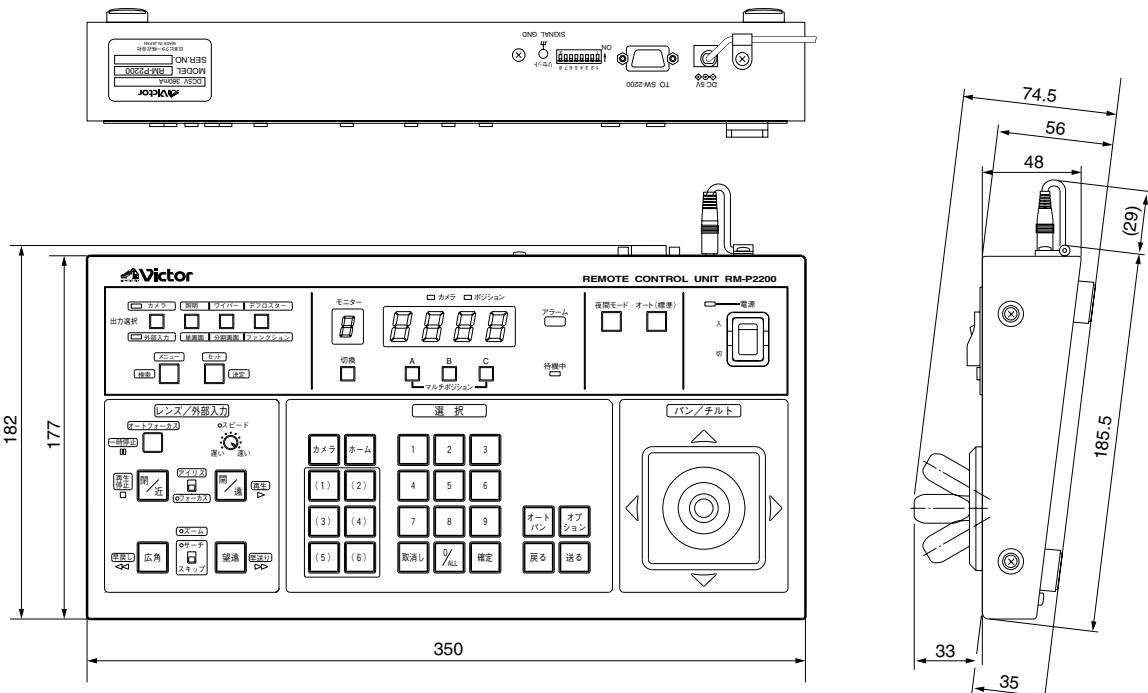
消費電力 : 360mA

周囲温度 : -10℃~50℃(動作)

: 0℃~40℃(推奨)

質量 : 1.8kg

■ 外形寸法 (単位: mm)



※本機ならびに関連商品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

お客様ご相談センター

フリーダイヤル



0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 **(03)5684-9311** [代表]

FAX **(03)5684-9317**

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

日本ビクター株式会社

プロシステムカンパニー

〒192-8620 東京都八王子市石川町2969-2

電話 (0426) 60-7203